

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会

水泳競技

湖国の感動
未来へつなぐ

2025年9月6日(土)~9月15日(月)

会場

インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
長浜市南浜町地先特設会場

主催:  公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・滋賀県 / 公益財団法人日本水泳連盟・草津市・長浜市

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目次

あいさつ

公益財団法人 日本スポーツ協会 会長 遠藤利明	1
文部科学大臣 あべ俊子	2
公益財団法人 日本水泳連盟会長 鈴木大地	3

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 実行委員会会長 滋賀県知事 三日月大造	4
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会会長 草津市長 橋川渉	5
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 長浜市実行委員会会長 長浜市長 浅見宣義	6
一般社団法人 滋賀県水泳連盟 会長 武田智雄	7

天皇杯・皇后杯授与規程 / 大会会長トロフィー授与規程	8
-----------------------------	---

大会役員	9
------	---

競技役員	13
------	----

競技役員	16
------	----

競技補助員	22
-------	----

競技会係員・競技会補助員（草津市・長浜市）	23
-----------------------	----

実施要項	24
------	----

競技日程	36
------	----

式次第	39
-----	----

監督者会議日程および会場	40
--------------	----

競泳プログラム	63
---------	----

競泳の見方	64
-------	----

競泳プログラム 1 日目	73
--------------	----

競泳プログラム 2 日目	93
--------------	----

競泳プログラム 3 日目	115
--------------	-----

飛込プログラム	131
---------	-----

飛込競技とは	132
--------	-----

飛込エントリーリスト	136
------------	-----

水球プログラム	145
---------	-----

水球の知識	146
-------	-----

水球組合せ表	148
--------	-----

アーティスティックスイミングプログラム	155
アーティスティックスイミングの見方	156
アーティスティックスイミングエントリーリスト	157
オープンウォータースイミングプログラム	159
オープンウォータースイミングの見方	160
オープンウォータースイミングエントリーリスト	161
大会参加者一覧表	163
前回までの成績	185
競技会場案内図	199
大会関係機関連絡先一覧	213

あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤利明

約400万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第79回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年6月、14年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年3月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様への御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

(令和7年7月31日時点)

あ い さ つ



公益財団法人 日本水泳連盟

会 長 鈴 木 大 地

全国 47 都道府県からの代表選手を迎えて、第 79 回国民スポーツ大会水泳競技大会が 9 月 6 日（土）から 9 月 15 日（月）まで、滋賀県・インフロニア草津アクアティクスセンター（競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング）、長浜市南浜町池先特設会場（オープンウォータースイミング）で盛大に開催されますことは、誠に意義深く大きな喜びです。

国民スポーツ大会の水泳競技は、終戦直後の昭和 21 年の第 1 回大会以来、大会の主旨を重んじつつ、世の中の変化とともに競技の内容・規模も変遷を遂げてまいりました。競技会は回を重ねるたびにより充実をみせ、広く国民の間に根を下ろし、国民スポーツとしての水泳普及・発展とともに競技力の向上にも、多大な役割を果たしてきたことは、広く認められているところです。そして 2024 年、国体の愛称で親しまれてきた国民体育大会も、「国民スポーツ大会」へと名称を変え、すべての人にスポーツのチカラを届ける、新しい大会へと変わりました。

本大会には、シンガポールで開催された世界選手権で活躍した選手も多く参加いたします。多くの選手が素晴らしいパフォーマンスを発揮し、躍動する雄姿を見せてくれました。本大会に出場する選手の皆さん、栄えある郷土の代表としての誇りと名誉を胸に、日頃鍛えた力と技を存分に発揮してください。そして、世界を意識したハイレベルな熱戦が展開されることを期待してやみません。また、スポーツを通じた心のふれあいと交流を通し、全国の多くの「AQUA CREW」と感動を分かち合うことができますよう願っています。

昨年、おかげさまで日本水泳連盟は創設 100 周年を迎えました。水泳は日本国内において最も参加人口の多いスポーツの 1 つであり、老若男女問わず生涯を通して楽しめるスポーツです。そこで、次の 100 年にわたって全ての人々がより健康で幸せな日々を過ごせる世の中が実現するよう、水泳を最大限に楽しめる環境づくりに注力することを宣言し、『水の国を、楽しみ尽くそう。』の新たなスローガンを掲げました。そして、引き続き『センターポールに日の丸を』のスローガンのもと、一丸となって、世界に挑み続けます。

結びに、本大会の開催と準備のためにご尽力いただきました滋賀県および一般社団法人滋賀県水泳連盟の皆さまをはじめ、関係各位のご支援ご協力に対し、心から感謝と御礼を申し上げますとともに、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の成功を祈念し挨拶といたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三日月 大造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
草津市実行委員会会長

草津市長 橋 川 渉

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」水泳競技がここ草津市で開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、全国各地からお越しの選手や監督、関係者の皆様を、草津市民を代表して心から歓迎いたします。

「わた SHIGA 輝く国スポ」は、昭和 56 年に開催された第 36 回国民体育大会「びわこ国体」以来、44 年ぶり 2 回目の開催となります。草津市では水泳競技をはじめとする 5 競技 8 種目の正式競技を行います。

また、水泳競技の会場となる「インフロニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）」につきましては、令和 6 年 8 月に供用開始し、50 m プール・25 m プール・飛込プールを屋内で通年利用可能な西日本唯一の施設となっており、今後も多くの方々に御利用いただきたいと思っております。

全国から訪れる多くの方々を心のこもったおもてなしで温かくお迎えするとともに、夢や感動、連帯感を共有できる大会となるよう、市民総参加で準備を進めてまいりました。

ふるさとを代表して出場される選手の皆様におかれましては、日頃の厳しい練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、本大会が、皆様にとって更なる飛躍と交流の場となりますことを期待しております。

草津市は、古くから東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として、また交通の要衝として栄えており、当時の面影を残す貴重な史跡である「草津宿本陣」や、一年を通して数多くのスイレンの花を観賞いただける「水生植物公園みずの森」、草津市の新しい観光スポットとして天井川であった廃川敷地を整備した、一年を通して四季折々の花が咲いている「草津川跡地公園」などにもお立ち寄りいただくと幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばいたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
長浜市実行委員会会長

長浜市長 浅見 宣義

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」水泳競技オープンウォーター
スイミング（OWS）種目が、全国各地から選手・監督をはじめ、多くの皆様をお迎えし、
長浜市で盛大に開催できますことは誠に光栄であり、市民を代表して心から歓迎いたし
ます。

滋賀県での開催は、昭和 56 年の「びわこ国体」以来 44 年ぶり 2 度目の開催であり、
長浜市では、OWS 種目をはじめとする国スポ正式競技 5 競技、公開競技 1 競技、デモ
ンストレーションスポーツ 1 競技、障スポ正式競技 1 競技を開催いたします。本大会の
開催に際し、大会期間中、本市に訪れるすべての方々を心のこもったおもてなしでお迎
えできますよう、市民一丸となって準備を進めてまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、郷土の代表として、日ごろの練習の成果を
遺憾なく発揮され、すばらしい成績を収められますとともに、参加選手や地域の方々との
交流、親睦の輪を広げていただき、本大会が皆様にとって思い出に残る大会となりま
すことをお祈り申し上げます。

さて、本市は豊臣秀吉公の出世の地として縁が深く、織田信長公のもとで戦った「姉
川合戦場」や「小谷城跡」、初代城主となった「長浜城」、天下人を決定付けた「賤ヶ岳
古戦場」などがあり、戦って日本一を決めるに相応しい歴史ある地域です。また、400
年以上続く伝統行事「長浜曳山祭」、雄大なびわ湖に浮かぶ神の島「竹生島」、現存する
最古の駅舎「旧長浜駅舎」など、時代を超えて多くの文化遺産を持つ県内有数の観光都
市でもあります。長浜駅直近の観光エリア「黒壁スクエア」は、城下町の面影があるレ
トロな街並み散策を楽しめる人気のスポットです。皆様には、時間の許す限り長浜市の
魅力も存分に感じていただき、再び本市にお越しいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申しあげま
すとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘・ご活躍を祈念いたしまして、歓迎
のことばといたします。

歓迎のことば



一般社団法人滋賀県水泳連盟

会長 武田 智雄

全国 47 都道府県を代表する選手・監督・関係者の皆様、ようこそ滋賀県へお越しくださいました。来県いただきました皆様を心より歓迎いたします。また、皆様をお迎えし、第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ 2025」水泳競技大会を、9 月 6 日から 9 月 15 日までの 10 日間にわたって開催できますことは、一般社団法人滋賀県水泳連盟にとりまして誠に光栄なことであります。

水泳競技大会は、長浜市と草津市で開催されます。長浜市では、日本一の広さを持つ「琵琶湖」を舞台に南浜町地先特設会場にてオープンウォータースイミングが実施されます。草津市では、この滋賀国スポに向けて整備された滋賀県待望の屋内 50m プールであるインフロニア草津アクアティクスセンターにて、アーティスティックスイミング、水球、飛込、競泳が開催されます。

一般社団法人滋賀県水泳連盟は、この滋賀国スポ水泳競技大会を成功に導くため各競技会場で全国規模の大会を経験してまいりました。課題は散見されましたが、各都道府県の栄誉のために研鑽を積んでこられた選手の皆様が、最高のパフォーマンスを発揮できるよう尽力いたします。また、ご参加いただいた選手関係者の皆様方が相互に親交を深められ、さらに豊かな人生を歩まれることを期待しております。併せて、「する」「見る」「支える」それぞれの立場でご参加いただいた皆様が、水泳という競技を通して地域社会の発展に寄与されることを期待いたします。

結びに、今大会の開催に向けてご指導とご支援を賜りました公益財団法人日本水泳連盟の皆様、開催地実行委員会の皆様、ボランティアの皆様をはじめとする関係者各位に心より感謝申しあげるとともに、大会に参加される選手の皆様の活躍を祈念いたしまして歓迎のことばとします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要によ

り一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程



大会会長トロフィー

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

田	中	稔	馬	越	祐	希	青	木	章	泰	城	戸	英	敏
藤	本	武	小	柳	勝	彦	辛	木	秀	子	宮	成	康	蔵
藤	本	格	岩	元	幸	成	平	良	朝	治	藤	原	正	樹
大	河	嘉	川	上	隆	弘	佐	藤	廣	子	奈	良	久	隆
小	菅	司	宇	津	妙	子	菊	部	幸	一	小	林	久	美
寺	澤	孝	山	口	純	子	武	子		新	野	中	厚	厚
金	城	邦	赤	松	健	行	增	村	治	宏	矢	野	和	彦
茂	里	毅	浅	野	敦	行	有	村	裕	子	上	野	賢	一郎
大	岡	敏	嘉	田	由	紀	北	野	裕	子	小	寺	裕	雄
こ	や	隆	斎	藤	アレ	クス	武	村	展	英	小	本	和	宏
目	片	信	村	井	泰	彦	北	村	嘉	英	小	椋	正	清
伊	藤	勉	草	野	聖	地	杉	浦	和	人	永	浜	明	子
有	森	裕	鈴	木	大	地	宮	本	恒	靖	深	澤	祐	二
坂	田	一	三	須	和	泰	仲	間	達	也	川	合	俊	一
藤	田	志	三	屋	裕	子	富	山	英	明	馬	場	益	弘
砂	岡	治	金	丸	恭	文	安	道	光	二	河	田	正	也
豊	田	男	千	玄	室	文	中	村	真	一	牧	島	か	れ
村	井	満	永	谷	喜	一	真	砂	威	成	土	田	雅	人
町	田	男	大	野	正	次	世	耕	弘	成	笹	川	善	弘
番	匠	一	久	保	素	子	丹	羽	秀	樹	岩	城	光	英
寶		馨	荒	川	裕	生	小	谷	知	也	達	増	拓	也
鶴	田	司	吉	村	美	栄	北	村	清	士	大	井	和	彦
福	田	一	遠	藤	祐	司	大	野	元	裕	熊	谷	俊	人
山	本	博	岡	田	伸	浩	花	角	英	世	新	田	八	朗
馳		浩	杉	本	達	治	高	野	剛	章	阿	部	守	一
田	口	隆	中	谷	多	加	大	村	秀	章	伊	藤	歳	恭
西	脇	俊	高	橋	知	史	齋	藤	元	彦	池	田	誠	也
宮	崎	泉	林	昭	男	政	丸	山	達	也	越	宗	孝	昌
苅	田	英	村	岡	嗣	太郎	後	藤	正	純	槇	田	賢	實
大	塚	男	服	部	誠	太郎	山	口	祥	義	大	石	賢	吾
甲	斐	博	麻	生	益	直	日	隈	俊	郎	塩	田	康	一
玉	城	子												
		圭	大	杉	住	子	赤	井	康	彦	有	村	國	俊
		也	今	江	政	彦	岩	崎	和	也	小	河	文	人
		江	奥	村	芳	正	海	東	英	和	加	藤	誠	一
		成	川	島	隆	二	河	村	浩	史	桐	田	真	人
		学	桑	野	仁	一	駒	井	千	代	佐	口	佳	惠
		剛	柴	田	栄	一	柴	田	清	行	清	水	鉄	次

参

与

清田谷中村岸塚東奥白小佐橋櫻堀久高熊山杉一高上赤山	水中口山上本郷山井林藤川本江保橋倉本原圓橋村井本	ひとみ英典和元織晃寛光雅健直和久祥正博真泰健照弘	樹隆行庸江弘彦一稔史司涉博良二郎志一也成太郎代和浩	史敬哲文利千克了夫太郎淳秀章	白田富野木土森中岡藤池田森松西藤市涌寺竹石草富大	田中波田沢井村田原内島中浦田井村林井野長西	幸義武成真和曉久一高加秀善良義幸とし弘孝	秀公博崇誠和治一聖幸裕重正	則誠明宏人一之守人美晃成代治久夫努伸祥太子宣雄	和雄道誠和治一洋司男美巖	周田中節森窪園中中正原浅竹今有甲藤岸金山川三佐崎	防中川木重田村田木見城村津堂澤田戸木野山	清松雅三千則子惠也隆陽宣克国和智博貴良恒智美	二太郎史代則子惠也義一健啓知寿寬昭文司幸治哉	睦弘子夫也樹典弘崇義生二潔	菅谷中本東野松山伊保北小岩角寺堤野武山上田市太	加三宇山佐若細濱高宮岡	沼沢田村田吹田川西永田本西畑川田	藤田野下野月野川泉	利成啓秀早千忠信純裕航純昌英太忠千	光礼栄博	国一武次之等史勉修輔茂	紀隆子樹勝苗春利人誠二理貴也二司弘明順保太郎稔惠子
---------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------	--------------------------	-----------------------	----------------------	---------------	-------------------------	--------------	--------------------------	----------------------	------------------------	------------------------	---------------	-------------------------	-------------	------------------	-----------	-------------------	------	-------------	---------------------------

委員長
副委員長
委員

委員長

田菅渡井吉金政寺南門加太金村杉高松久笠吉高須東井竹寺渡	口原辺本田地岡垣野藤田松浦橋本米井野藤瀬上内崎嘉敷	大正久由和美和航佑芳久仁雄真貴達美健守和康賢瑞勇義俊雅通	祐幸雄亘裕大介広樹美人也紀二正成行一郎洋司人哲勝巳之	平高三関杉野坊田池清鈴高新井藤吉松高尾横遠角酒今松荒綾	井橋井根本口中本水木野保澤村本田鷺山藤田井後井木部	宏千明好友百遥佳直正克隆宗綾孝一美信真雅元健吉	治昇壽子二里花大子敦規暢行司浩子行成和哉司洋彦守治也	岸長鈴中東品小河宇横高瀬岩戒林曾中田辻松山千柄碓沼吉平	川南木山野治原高江井谷埜田我嶋口岡山元葉澤井田岡江	剛哲信二三真理子惠百章弘和尚直由剛純新英度尚雅宏守直公	之生吾三男子映広昭紀男史学也幸良史也之稔弘彦一	西衛山越川富田近沼見大深児稻木前河前濱宮菅竹武田刈黒	原藤中前口澤口藤波田貫谷玉葉原田田本城間内田部长谷木	斗敬博浩雅佑雅茂大祐晶晴哲康英義昌直裕延知好淳	司博史司三也紀潤輝紀輔紀香伸也博史朗宏人晃和巳衛門孝一郎	男輔史司三也紀潤輝紀輔紀香伸也博史朗宏人晃和巳衛門孝一郎
-----------------------------	---------------------------	------------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------------	-------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------	------------------------------	------------------------------

競 技 会 役 員

2025年8月21日現在
(順不同・敬称略)

名 譽 会 長	橋 川 涉	浅 見 宣 義			
会 長	鈴 木 大 地				
副 会 長	齋 藤 由 紀	金 子 日 出 澄	岩 城 弘 宜	奥 村 芳 正	
顧 問	藤 田 誠 一				
	林 利 博	佐 野 和 夫	青 木 剛	安 部 喜 方	
	上 野 広 治	笠 原 一 也	金 子 正 子	木 村 洋 二	
	後 藤 忠 治	坂 元 要	鈴 木 浩 二	高 木 弘 毅	
	濱 崎 洸 一	林 務	堀 正 美	村 木 茂	
	村 山 よしみ	山 重 美 登 士	川 村 恒 宏	前 田 濟	
	小 田 島 秀 俊	川 村 清 兒	中 村 晴 二	武 田 聡	
	壺 岐 ひろみ	中 村 昌 平	螺 良 昭 人	田 中 信 宏	
	須 田 邦 明	加 藤 宗 人	北 島 康 介	新 屋 干 城	
	野 口 英 一	小 坂 壮 太 郎	渡 邊 強	関 清 嗣	
	砂 塚 隆 広	西 村 友 一	寺 田 政 義	田 中 良 夫	
	濱 田 哲	加 藤 哲 久	武 田 智 雄	奥 芳 文	
	酒 井 勝 敬	中 西 進	山 本 良 介	尾 崎 要 二	
	宍 戸 靖 雄	野 津 直 嗣	溝 口 香	富 永 健 三	
	青 木 賢 治	松 本 彰	立 川 了 大	尾 崎 英 雄	
	三 浦 光 夫	山 住 哲 生	古 賀 陽 三	大 場 博 文	
	辛 木 秀 子	嶋 幸 一	武 井 俊 輔	郷 原 誠	
	川 満 正 芳	西 村 隆 行	藤 田 雅 也	伊 藤 喜 久 雄	
	織 田 恭 淳				
参 与	西 川 仁	藤 井 三 恵 子	西 田 剛	杉 江 昇	
	中 嶋 昭 雄	西 垣 和 美	瀬 川 裕 海	伊 吹 達 郎	
	小 野 元 嗣	山 元 宏 和	横 江 政 則	八 木 良 人	
	遠 藤 覚	中 島 美 徳	土 肥 浩 資	井 上 薫	
	服 部 利 比 郎	田 中 香 治	福 田 茂 雄	先 成 俊 士	
	野 村 友 子	田 中 詩 織	藤 本 晶	我 孫 子 智 美	
	森 登 世 美	小 辻 寿 規	辻 川 明 宏	南 川 等	
	北 村 嘉 英 隆	中 谷 緑 郎	合 田 典 宏	浮 田 豊 史	
	三 輪 浩 二	奥 村 展 三	西 村 高 司	高 橋 敏 夫	
	若 吉 浩 二	片 岡 秀 之	河 井 昭 成	原 陽 一 夫	
	稲 田 優	武 田 正 大	吉 川 彰 治	明 石 芳 夫	
	宮 崎 千 鶴 子	新 木 真 一	清 水 和 廣	園 田 実 乘 一	
	田 畑 太 郎	木 原 彰 彦	南 川 千 秋	杉 田 信	

横角野板高福田北岩北多中鋒大平木高鈴大渡栗篠坂小河鳴北福柳川原牛北会荒井大片川	井村垣松西中川川賀川山塚井谷橋鈴木田邊崎口原川村島館山田窪村田木上橋沼口	和一昌裕弘弘三信陽修紀敬和琢博正礼由俊純忠紀敦裕武	暢朗良之泰充男治子大平勇子睦美儀子強仁健一夫惠志誠毅香梨之子秋一雄勝二武	田北河山奧高武黒大鬼高中松押前岩月古梁吉小福瀬土越赤樋野水高濱北青壹榎大金川	畑相合本山岡村川橋頭山川本谷川瀨光瀨田池見井智崎口村藤槁崎出木岐本桃岡村	政裕陽敏良孝延明リョウ小和融龍千嘉隆浩武雅隼慎稔孝弘宗泰真守ひろ正恒恒	泉和明一樹秀彰治行男亨治助彦義弘衛鶴代治二博夫人哉浩路吏良造喬み志隆治宏	羽荒太一福奧田小押杉竹橋村小江木田戸古山山梶西品和安岡堀元岡龜重安石大河内奥金辛	田川田浦井谷中良谷本本山西畑村中川屋下本山垣川田部生信清えみゆき正吉芳俊秀	賢武一辰教美津輝正英直典さ善仁修徳典英憲生清えみゆき正吉芳俊秀	一仁己之歩男春一隆子おり生資司潔夫史佳也一是晃毅一郎香こ修みゆき信宏行文介子	岸金黒杉荻菊小馬加千田藤矢長荻千菊百柄木林嶋原向田平高山小石田佐足伊大奥河清	本森川田下池寺場納田中井守谷田葉池木澤下谷原中松橋田中木立藤塚村合田	敏克貢則正久義貞真昭武洋和和一秀喜秀成章憲繁智一伸穂みちよ正征純千	久行彦一浩誠宜昭之浩登男二介喜博雄樹美豐樹剛二太郎浩子美一徳よ達明照一秋
---	--------------------------------------	---------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------	--	--	------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------

倉	橋	範	彦	小	谷	正	齊	藤	昌	一	齋	藤	雅	文	
佐	藤	智	子	篠	原	邦	地	平	達	郎	澁	谷	俊	一	
島	口	正	明	末	弘	昭	菅	原	憲	平	住	田	栄	資	
関	林	義	毅	高	木	忠	高	橋	良	司	武	田		聡	
竹	谷	永	浩	田	中	信	田	中	忠	夫	都	筑	忠	実	
津	居	裕	光	寺	田	政	土	佐	嶋	雄	土	佐	成	輔	
鳥	村	晴	史	永	瀬	昭	中	嶋	村	功	中	野	村	章	
中	野	正	二	西	村	友	野	尾	照	夫	野	村	島	實	
林	明	夫	夫	原	井	朗	東	田	公	彦	東	島	新	次	
日	典	德	典	平	間	昌	福	田	友	豊	藤	本	尚	章	
古	健	典	健	本	野	和	前	原	義	濟	正	村	孝	司	
松	寛	健	寛	水	本	明	簀	沼	彦	義	箕	輪	田	晃	
宮	良	寛	寛	宮	中	二	八	木	正	彦	矢	澤	章	弘	
山	哲	生	生	山	俊	三	山	根	一	寿	和	田	章	明	
金	子	日出	澄												
新	庄	貴	史	宇	野	嘉	隆								
村	松	さ	やか	丸	笹	公	一郎	八	塚	明	憲	有	吉	伸	久
岩	崎	恭	子	佐	藤	若	若	坂	口	結	子	穴	戸	靖	雄
原	伏	怜	来	大	崎	栄	栄	遠	藤	真	愛	田	中	和	美
室	葉	由	佳	吉	田	靖	靖	渡	邊	帆	帆	嶋	岡	正	和
千	か	おり	則	馬	場	長	長	矢	野	廣	意	奥	村	恭	弘
岡	雅	則		打	谷	子	子								

委員長
委員
副委員長

競 技 役 員

2025年8月21日現在
(順不同・敬称略)

役 員 長 八 塚 明 憲
副 役 員 長 合 田 典 宏
競 技 進 行 藤 森 克 悦

■ 競 泳 競 技 役 員

審 判 長	後 藤 直 之			
副 審 判 長	岡 安 敦	篠 崎 健	中 井 良 輔	
機 械 審 判	内 野 真 人			
出 発 合 図 員	(主)園 山 直 文	久 保 田 和 子	西 村 太 智	岸 邊 昭 信
泳 法 審 判 員	◎宇 佐 見 文 絵			
	山 口 秀	安 田 健 行	瀬 川 步	加 藤 浩 二
	富 山 貴 士	田 中 雅 則	内 藤 逸 朗	小 西 太 二
	川 崎 真 琴	成 田 健	稲 森 基 展	海 野 裕 紀
折 返 監 察 員	(主)勝 又 大 和	植 村 雅 志	門 坂 誠	栢 口 泰 至
	松 原 友 哉	川 越 祐 介	藤 本 航 平	中 村 孝 則
	森 山 将 大	松 田 正 之	湯 原 憲 造	竹 村 治 郎
	板 原 隆 夫	上 野 富 男	久 郷 奈 央 美	前 田 博 司
	古 川 暁	渡 邊 英 世	大 西 美 保	中 沢 拓 未
	村 中 一 夫	市 田 英 雄	安 村 信 男	疋 田 一 貴
	小 菅 元 太	千 貫 伸 行	宮 島 桃 佳	今 井 照 代
	鎌 近 真 行	岡 田 正 彦	坂 野 篤 史	中 野 尚 哉
	若 菜 光 宏	小 野 修 司	原 田 靖	新 谷 涼 太 朗
	極 立 龍 樹	山 本 真 澄	森 富 時 夫	岡 廣 美 知 雄
	松 居 正 治	岡 山 駿	後 藤 陽 子	岩 見 順 子
	大 矢 可 奈 子	福 居 倫 子	近 江 治 代	西 村 省 司
	岡 山 華 音			
記 録 員	(主)加 藤 美 孝	大 角 侑 樹	川 崎 いづみ	鬼 頭 宏 和
	田 崎 圭 一 郎	伊 藤 秀 幸		
公 式 計 時	S E I K O			
コ ン ピ ュ ー タ 操 作 員	(主)永 井 信	久 山 虎 宇 太	瀧 頭 雅	芳 賀 康 大
	阪 口 眞 治			
速 報 員	(主)北 澤 正 明	竹 澤 耕 介	瀬 田 工 業 高 等 学 校 教 員	
	栗 東 高 等 学 校 教 員			
招 集 員	(主)鈎 富 喜 子	寺 元 佳 子	加 藤 由 利 加	辻 けい 子
	大 塚 幸	尾 本 智 隆	白 井 由 美 子	青 木 康 子
	富 川 淳 仁	福 居 步 美	福 居 美 和	

通 告 員	(主)小 野 一 美	島 村 直 美	寺 田 恵 理	松 山 恵 美 子
音 響 係	(主)杉 田 梢	西 村 恵 理		
式 典・表 彰	(主)増 田 ともみ	杉 本 友 子	阿 慈 知 寛 子	渡 部 昌 代
	草津東高等学校教員			
賞 典	(主)五 藤 千 尋	疋 田 亜 佳 美	小 里 昌 弘	小 里 友 香
リゾリューション	(主)國 重 幸 裕	起 和 博	藤 林 好 美	
総合得点委員長	篠 崎 健			
報 道	(主)石 田 伸 一	山 本 芳 一	福 田 文 彦	町 田 登
	北 野 伊 瑠 人			
競 技 会 場 係	(主)渋 谷 ま ち 子	桑 野 允	安 田 秀 生	馬 場 良 長
	酒 井 清 則	中 嶋 政 幸	寸 田 康 雄	中 島 太 洋
	奥 村 洋 和	奥 村 雅 之	井 上 茂	
会 場 係	(主)瀬 見 武 博	山 本 直 樹	松 村 庄 司	末 光 薫
	清 野 涼 二	戸 谷 志 の ぶ	黒 田 拓 真	奥 村 奏
	中 西 万 利 湖			
受 付	(主)長 谷 川 芳 一	田 中 聖 子	中 川 輝 美	鹿 野 瑠 美
	北 島 久 愛	渡 邊 卓		
競 技 役 員 係	(主)篠 崎 由 紀	鈎 文 子		
競 技 補 助 員 係	玉川高等学校教員		石山高等学校教員	
	東大津高等学校教員			
競 技 会 総 務	(主)高 橋 聖 一	合 田 典 宏	山 口 早 苗	伊 藤 将 大
	庄 司 ひ と み	稲 本 忠	山 本 き え こ	鵜 飼 久 登
	富 永 芽 生	橋 爪 美 由 紀	陌 間 恵 子	板 原 瑞 月
	木 村 聖 士	西 村 雅 司	仲 矢 智 博	水 島 千 江 子
	木 下 華 奈	木 村 優 花	国際情報高等学校教員	
	守山高等学校教員			

■ 飛込 競技役員

飛込委員長	野村孝路				
審判長	金戸幸				
副審判長	浅田雅子	伊藤正明			
審判員(ブロック)	湯浅よしの	安永三郎	瓦井健二	木綿薫	
	段木雅博	寺田裕樹	辰巳楓佳	村上和基	
	岡部美恵子	都築正治	土井謙吾		
競技進行	矢作貴則				
通告員	徳本奈保美	阿部しげの	馬淵優佳		
機械記録員	高山優子	磯野桜子	村口和寛		
映像・音響	松下正子	藤本朋子			
種目・得点表示員	三浦房子				
記録員	(主)山崎雅夫	時政寛子	福井小夜子	下山京子	
	安井一	大塚崇洋			
速報員	山田瑛奈	廣田憩			
報道担当員	古川現夫	成宮麻友			
招集員	松本絵里	黒川菜々実			
賞典員	瓶子笑里佳	上蘭美智子			
場内司令	大音安紀子	大橋禎二			
受付員	高原紀子	杉浦美幸			
競技会総務	伊地知健	田中二三代	大原修司	出口佳祐	
	貝吹啓靖	安田功世	柴岡三郎		

■ 水球 競技役員

水球委員長	大 本 洋 嗣								
競技役員長	潮 崎 正 一								
審判員	森 林 和 三	高 橋 大	黒 崎 千 智	石 谷 啓 輔					
	古 元 美 帆	梶 原 洋 祐	宇 田 川 佑 里 子	太 田 一 誠					
	中 村 友 美	武 松 直 輝	西 原 明 日 美						
デレゲート	井 上 剛	潮 崎 正 一							
審判審査	南 隆 尚	荻 野 浩 明							
アシスタントレフリー	(主) 藤 田 秀 則	遠 藤 洸 希	岡 弘 樹	中 西 敦 也					
	佐 藤 誠	行 岡 勇 翔	有 田 遂 夢	津 田 祥 太 郎					
タイムキーパー	(主) 谷 口 一 郎	有 田 達 洋	杉 本 健 拓	中 本 一 希					
	道 上 碧 飛	鈴 木 天 空	中 野 心 優	三 輪 康 太					
	葛 原 浩								
セクレタリー	(主) 八 若 学 (副)	今 村 芳 和	本 間 哉 恵	長 谷 悠 翔					
	椎 葉 心 咲	花 井 一 代							
	(主) 中 野 功 規	瀧 村 光 正	仲 宗 根 陸 斗	鱧 部 亮					
	小 宮 山 璃 音	堤 悠 貴	春 日 大 樹	工 藤 壮 史					
スポッター	(主) 福 田 建 夫	井 上 翔 一	山 本 裕 介	前 田 萌 衣					
通告員	(主) 小 山 和 典	中 原 聡 子	船 津 美 帆	山 田 一 久 美					
音響員	(主) 廣 田 勝 徳	間 塚 一 男	勝 木 賢 一	田 中 洋					
	羽 淵 康 彦								
得点・PF表示員	(主) 中 川 雄 二	藤 居 義 信	前 川 圭 助	辻 村 和 之					
	押 谷 茂 樹	稲 川 貴 光	高 山 満	江 菅 一 彦					
	伏 木 洋 司	山 田 敬 史							
センターリング員	(主) 中 嶋 義 典	小 椋 基 弘	森 口 徹	岡 文					
招集・誘導員	(主) 打 木 徹	藤 林 空 也	大 橋 克 麻	野 一 色 健 太					
	粕 淵 優 介	藤 居 晃 太	保 崎 雅 裕	小 森 啓 詞					
	藤 居 敦 龍	下 津 大 介	小 森 透 眞	岩 坪 眞 平					
	北 川 史 龍	井 上 龍 一							
記録・速報・賞典員	(主) 草 川 勝 之 (主)	春 日 輝 彦	引 山 和 宏	山 本 浩 次					
	木 谷 育 弘	馬 堀 慎 章	戸 田 優 子						
場内司令員	(主) 森 川 裕 翔	饗 場 雅 文	横 田 魁 冬	桐 畑 匠					
	中 川 青 大	藤 田 眞 夏 仁	上 坂 祐 嘉						
競技補助員	(主) 田 中 健 司	清 水 安 治	山 口 眞	仁 添 克 弥					
コートチェンジ員	(主) 山 田 敬 史								
受付員	(主) 野 一 色 守 孝	奥 長 朋 子	名 古 屋 恵 美 子	伊 藤 弘 子					
	春 日 友 美	森 田 陽 子	桐 畑 薫	森 川 礼 子					
	清 水 れい 子	渋 谷 ま ち 子	陌 間 恵 子						
総務員	早 川 千 春	成 田 新 治	藤 田 悦 司	大 坂 淳 靖					
	(主) 藤 本 学 (副)	勝 木 和 広	森 田 裕 司	貝 吹 啓 靖					

■ アーティスティックスイミング 競技役員

レ フ リ ー	山 田 智 子			
ジ ャ ッ ジ	鷲 見 朗 子	田 中 洋 子	萩 野 希 代 子	滝 田 理 絵 子
	異 明 子	大 崎 康 弘	矢 野 直 香	浦 上 恭 子
テクニカルコントローラー	本 間 三 和 子	朝 原 史 子	滝 田 理 砂 子	安 村 雅 子
	秋 山 愛 奈			
記 録 主 任	坂 尾 国 香			
記 録 員	増 田 と も み	田 中 睦 子	西 垣 佳 子	長 嶺 洋 子
	井 手 敬 一 郎			
通 告 員	島 村 直 美	京 極 泰 代	細 井 文 葉	木 立 美 津 子
コンピューター係員	久 山 虎 宇 太			
招 集 員	杉 田 梢	阿 慈 知 寛 子	松 井 妙 子	神 崎 衆 子
音 響 係	京 極 お き な			
映 像 係 員	西 村 若 葉	下 田 綺 良 々	山 田 静 香	
計 時 員	橋 爪 美 由 紀	藤 木 紀 代 子	乾 祥 子	岡 本 結 万
速 報 係 員	楠 本 信 子	井 口 直 子	神 知 美	妹 尾 め ぐ み
報 道 担 当 係 員	篠 崎 健			
受 付 係 員	山 本 真 澄	渋谷 ま ち 子	岩 見 順 子	今 井 照 代
	杉 本 友 子	甲 斐 藍		
補 助 役 員 係	鈎 文 子	白 井 由 美 子		
場 内 司 令 員	本 田 真 奈 美			
監 視 救 護	インフロニア草津アクアティクスセンターライフガード			
会 場 監 視 員	竹 村 治 郎	前 田 博 司	奥 村 雅 之	奥 村 洋 和
	上 田 秋 慶	中 沢 拓 未	永 井 信	
賞 典 係 員	久 保 田 和 子	寺 元 佳 子		
総 務 員	大 西 美 保	黒 川 由 江	工 藤 忍	
来 賓 接 待	武 田 智 雄	合 田 典 宏		
ドーピングコントロール	陌 間 恵 子	辻 けい子		
記 録 送 信 員	清 野 涼 二			

競技補助員

(順不同・敬称略)

■ 競泳

石山高等学校	草津東高等学校	国際情報高等学校
瀬田工業高等学校	玉川高等学校	東大津高等学校
守山高等学校	栗東高等学校	
		計 124名

■ 飛込

草津東高等学校	玉川高等学校	
		計 15名

■ 水球

綾羽高等学校	草津高等学校	草津東高等学校
光泉カトリック高等学校	湖南農業高等学校	
		計 157名

■ アーティスティックスイミング

草津高等学校	草津東高等学校	玉川高等学校
		計 20名

■ オープンウォータースイミング

長浜北高等学校		
		計 14名

草津市実施本部

■ 競技会係員（競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング）

「草津市実施本部職員一同」

■ 競技会補助員（競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング）

「草津市ボランティア一同」

「草津市スポーツ推進委員協議会一同」

長浜市実施本部

■ 競技会係員（オープンウォータースイミング）

「長浜市実施本部職員一同」

■ 競技会補助員（オープンウォータースイミング）

「長浜市ボランティア一同」

〔2〕水泳競技

1 期 日 2025年9月6日(土)から9月15日(月)まで(10日間)

○ 競泳日程

種 別	9月13日(土)	9月14日(日)	9月15日(月)
成 年 男 子	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
成 年 女 子	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少 年 男 子 A	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少 年 女 子 A	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少 年 男 子 B	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少 年 女 子 B	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝

○ 飛込日程(○内は順序)

種 別	9月13日(土)	9月14日(日)	9月15日(月)
成 年 男 子		③ 飛板飛込決勝	② 高飛込決勝
成 年 女 子	③ 高飛込決勝		① 飛板飛込決勝
少 年 男 子	② 飛板飛込決勝	② 高飛込決勝	
少 年 女 子	① 高飛込決勝	① 飛板飛込決勝	

○ 水球日程

種 別	9月8日(月)	9月9日(火)	9月10日(水)	9月11日(木)
少 年 男 子	予選リーグ (6試合)	予選リーグ (6試合)	準決勝 (2試合)	3位決定戦・決勝 (2試合)
女 子	予選リーグ (6試合)	予選リーグ (6試合)	予選リーグ (8試合)	3位決定戦・決勝 (2試合)

○ アーティスティックスイミング日程

種 別	9月6日(土) 午前	9月6日(土) 午後
少 年 女 子	テクニカルルーティン競技	フリールーティン競技

○ オープンウォータースイミング日程

種 別	9月10日(水)
男 子	5km競技
女 子	5km競技

2 会 場 草津市 (競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング)
 インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
 長浜市 (オープンウォータースイミング)
 長浜市南浜町地先特設会場

◇ 荒天時の対応

天候状況により、日程、スタート時間、コース、距離を変更もしくは中止する場合があります。

3 種別（種目）および参加人員

○ 競 泳

- (1) 各都道府県は、監督2名以内（OWSの監督は競泳の監督を兼ねることができ、その場合限り、競泳の監督は最大2名とする。）、選手42名（男子選手は24名以内、女子選手は23名以内）計44名以内で編成。種別、種目および参加数は下表のとおりとする。

ア 男 子（24名以内）

種別	種目	種目数	1種目の参加数	種別などの参加数	
成年	自由形 50 m・100 m・400 m、背泳ぎ 100 m、平泳ぎ 100 m、バタフライ 100 m、個人メドレー 200 m、フリーリレー 4×50 m、メドレーリレー 4×100 m	9	27	1名以内	10名以内
少年	A 自由形 50 m・100 m・400 m、背泳ぎ 200 m、平泳ぎ 200 m、バタフライ 200 m、個人メドレー 400 m、フリーリレー 4×200 m、メドレーリレー 4×100 m	9		1名以内	10名以内
	B 自由形 50 m・100 m・400 m、背泳ぎ 100 m、平泳ぎ 100 m、バタフライ 100 m、個人メドレー 200 m、フリーリレー 4×100 m、メドレーリレー 4×100 m	9		1名以内	10名以内

イ 女 子（23名以内）

種別	種目	共通種目	種目数	1種目の参加数	種別などの参加数	
成年	自由形 50 m・100 m・400 m、背泳ぎ 100 m、平泳ぎ 100 m、バタフライ 100 m、個人メドレー 200 m、フリーリレー 4×50 m、メドレーリレー 4×100 m	—	9	26	1名以内	10名以内
少年	A 自由形 50 m・100 m、背泳ぎ 200 m、平泳ぎ 200 m、バタフライ 200 m、個人メドレー 400 m、フリーリレー 4×100 m、メドレーリレー 4×100 m	自由形 400 m	9 (含む自由形 400 m)		1名以内	10名以内
	B 自由形 50 m・100 m、背泳ぎ 100 m、平泳ぎ 100 m、バタフライ 100 m、個人メドレー 200 m、フリーリレー 4×100 m、メドレーリレー 4×100 m		9 (含む自由形 400 m)		1名以内	10名以内

- (2) 各都道府県の参加は、前記のほか、次の出場制限によるものとする。

ア 同一人の出場は、2種目（リレーを除く）以内とする。

イ 少年Aには、中学3年生を除く少年Bの者も参加できる。その場合、少年女子の400 m自由形に参加する場合を除き、全て少年Aの扱いとなる。

ウ 個人種目に出場しないリレー要員は、男女各5名・合計10名までとする。

エ 9(4)イに定める予備エントリーの総数が参加人員の定員を超えた場合は、公益財団法人日本水泳連盟が調整を行う。

○ 飛 込

(1) 各都道府県は、監督1名、選手4名、計5名以内で編成。種別、種目および参加数は下表のとおりとする。

種 別	種 目	内 容	種目数	監督	選手	参加都道府県	計 (人)
成年男子	飛板飛込	自由選択飛6演技(各群より)	2	1	4	47	98
	高飛込	自由選択飛6演技(各群より)					
成年女子	飛板飛込	自由選択飛5演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛5演技(異群より)					
少年男子	飛板飛込	自由選択飛5演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛5演技(異群より)					
少年女子	飛板飛込	自由選択飛4演技(異群より)	2				
	高飛込	自由選択飛4演技(異群より)					

(2) 各都道府県の参加は各種目1名とする。なお、1名は2種目(飛板飛込、高飛込)までエントリーすることができる。ただし、指定された予選会に出場し標準点を突破していること。

(3) 6(6)および9(4)エに定める予備エントリーに基づき、公益財団法人日本水泳連盟が出場人数を決定する。

(4) 成年選手は監督を兼任することができる。

○ 水 球

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	計 (人)
少 年 男 子	1	11	12	264
女 子	1	11	10	

○ アーティスティックスイミング

種 別	種 目	監 督	選 手	参加都道府県	計 (人)
少年女子	デュエット	1	2	18	54

○ オープンウォータースイミング

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	計 (人)
男 子	1	1または2	47	114
女 子				

(1) 成年の選手は監督を兼任することができる。

(2) 監督は競泳監督を兼ねることができる。

(OWS監督が専任の場合、競泳監督は1名となる)

(3) 選手の参加については予備エントリーにて男女各1名、もしくは男子か女子1名を決定する。(監督47名、選手67名。予備エントリーにて男女とも参加する都道府県を20都道府県程度認める)

4 競技上の規程および方法

○ 競 泳

公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則による。

○ 飛 込

公益財団法人日本水泳連盟飛込競技規則による。ただし、各競技種目とも決勝のみ行う。

○ 水 球

公益財団法人日本水泳連盟水球競技規則、「試合の勝ち点と順位付け方法」によるもののほか、次による。

(1) 少年男子は、予選リーグ（3チーム4ブロック）、および決勝トーナメント方式で競技を進行する。予選リーグは勝ち点制（勝ち3点・引き分け1点・負け0点）とする。予選リーグで第4ピリオド終了時に同点の場合は引き分けとし、P S Oは行わない。棄権は0対40で敗戦とする。

(2) 女子は、予選リーグ（5チーム2ブロック）、および各ブロック1位同士の決勝、2位同士の3位決定戦を行う。予選リーグは勝ち点制（勝ち3点・引き分け1点・負け0点）とする。予選リーグで第4ピリオド終了時に同点の場合は引き分けとし、P S Oは行わない。棄権は0対40で敗戦とする。

(3) 競技時間（少年男子決勝トーナメント、女子決勝・3位決定戦）

試合 時間	第1ピリオド	休憩	第2ピリオド	休憩	第3ピリオド	休憩	第4ピリオド
	8分	2分	8分	3分	8分	2分	8分

競技時間（少年男子予選リーグ）

試合 時間	第1ピリオド	休憩	第2ピリオド	休憩	第3ピリオド	休憩	第4ピリオド
	7分	2分	7分	2分	7分	2分	7分

競技時間（女子予選リーグ）

試合 時間	第1ピリオド	休憩	第2ピリオド	休憩	第3ピリオド	休憩	第4ピリオド
	6分	2分	6分	2分	6分	2分	6分

(4) ボール

ア 少年男子・・・公益財団法人日本水泳連盟一般男子公認球

イ 女 子・・・公益財団法人日本水泳連盟一般女子公認球

(5) エントリーできるのは11名までとする。第2のGKはNo.11とする。No.11は試合中にフィールド用とGK用の帽子を変更して試合参加することができる。GK No. 1とNo.11がプレイできない状態となった場合には、第3のGKはNo.11の帽子を使用する。その他交代に関する規定は13人制ルールに準ずる。

(6) 少年男子予選リーグおよび女子予選リーグにおいて、タイムアウトは各チーム1回とする。

(7) 少年男子予選リーグおよび女子予選リーグにおいて、第2ピリオド終了時点以降、10点差以上でコールドゲームとする。

○ アーティスティックスイミング

公益財団法人日本水泳連盟アーティスティックスイミング競技規則による。ただし、World Aquatics ルールに則り変更となる場合がある。

コーチカードの提出締切は8月29日（金）。提出方法については別途指定する。

○ オープンウォータースイミング

公益財団法人日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則による。ただし「第5条レース（5）」の14項については一部適用しない場合がある。

5 予選方法

○ 競 泳

各都道府県は、都道府県大会を実施し、本大会代表を選考する。

○ 飛 込

各都道府県は、指定競技大会の成績により、本大会代表候補選手を選考する。

○ 水 球

(1) 各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場するチームを決定する。

(2) ブロック大会区分および代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	少年男子	女 子	ブロック名	少年男子	女 子
北 海 道 東 北	1	1	近 畿	2	1
			中 国	1	1
関 東	3	2	四 国	1	1
北 信 越	1	1	九 州	1	1
東 海	1	1	開 催 県	1	1

※ 少年男子・女子共に、各ブロック1、開催県1とし、少年男子については前回の上位3チームが所属するブロックに、女子については前回1位のチームが所属するブロックにそれぞれの出場権を加配する。

○ アーティスティックスイミング

(1) 各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する代表チームを決定する。

(2) ブロック大会はテクニカルルーティン、フリールーティンを実施し、下表のとおり区分により代表チームを決定する。

ブロック名	出場チーム	ブロック名	出場チーム
北 海 道 東 北	2	近 畿	2
		中 国	2
関 東	4	四 国	
北 信 越	3	九 州	2
東 海	2	開 催 県	1

(3) ブロック大会エントリーの時点でブロック代表チームが定数に満たないことが判明した場合、大会開催の地域区分（東、中および、西地区）内の他ブロックへ代表の権利を移譲できる。該当するブロック大会開催県は、地域区分内の他ブロックへ報告・協議の上、地域区分内のブロック大会に出場したチームの中から移譲する代表チームを選考し、理由を添えて公益財団法人日本水泳連盟へ推薦する。公益財団法人日本水泳連盟は推薦内容を確認して承認し、出場チームを決定後、該当年度のブロック別の出場チーム数の変更内容およびその理由について、日本スポーツ協会に対し、速やかに届け出るものとする。

東、中および西地区ならびにブロックの区分は次表のとおりとする。

東	中	西
北海道・東北ブロック 関東ブロック	北信越ブロック 東海ブロック 近畿ブロック	中国・四国ブロック 九州ブロック

○ オープンウォータースイミング

各都道府県は、公益財団法人日本水泳連盟が定める資格基準に基づき、本大会代表を選考する。

6 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか次による。

(1) 選手は、公益財団法人日本水泳連盟登録者であること。

なお、未登録の者が本競技会に参加するためには、国スポ予選出場のため当該都道府県選手として一時登録が認められた者とする。ただし、いずれも該当しない者は審査の上、決定する。

(2) 少年の所属

生徒（高等専門学校を含む）は学校所在地から参加し、第1学年を除き在学1年未満の者は参加できない。また種別を問わず、同一学年での参加は1回とする。

生徒以外の少年は、「居住地を示す現住所」の都道府県からそれぞれ参加する。

なお、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項では、『学校教育法』第1条に規定する学校の所在地から参加する場合は、大会開催年の4月30日以前から大会終了時まで引き続き当該地に、通学していなければならない旨、定めている。このため、やむを得ない事情による転校で在学1年未満の者については、公益財団法人日本水泳連盟が調査・審議のうえ、参加の可否を判断し、日本スポーツ協会へ報告する。

(3) 成年の所属

学生は卒業小学校、中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県から「ふるさと選手制度」を活用し参加する。

学生以外の成年は、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「ふるさと」のいずれかが属する都道府県を選択することができる。

(4) 選手の年齢基準

ア 競泳の成年男子、成年女子、飛込の成年に参加する選手は、2007年4月1日以前に生まれた者。

イ 競泳の少年Aに参加する選手は、2007年4月2日以降、2010年4月1日までに生まれた者。

ウ 競泳の少年Bに参加する選手は、2009年4月2日以降、2011年4月1日までに生まれた者。

エ 飛込の少年およびアーティスティックスイミングに参加する選手は、2007年4月2日以降、2011年4月1日までに生まれた者。

オ 水球の少年男子に参加する選手は、2007年4月2日以降、2010年4月1日までに生まれた者。

カ 水球の女子に参加する選手は、2011年4月1日以前に生まれた者。

キ オープンウォータースイミングに参加する選手は、2011年4月1日以前に生まれた者。

(5) 競泳は、2025年3月20日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した、公式競技会または公認競技会において、公益財団法人日本水泳連盟の定める標準記録を突破した者は、その種目に限り申込みができる。また、標準記録を突破できない場合でも、男女各4名・計8名までは無条件参加枠として、個人種目1種目に限り参加できる。

ア 標準記録を突破した者が男女いずれか一方でも4名の枠を超えた場合は、男女とも無条件参加枠を使用することはできない。

イ 無条件参加枠で出場する選手は、標準記録突破者と同様にリレーに出場できる。

ウ 開催県は前記3の人数枠内でフルエントリーすることができる。

(6) 飛込は、各都道府県水泳連盟（協会）が次の2025年度競技会において、公益財団法人日本水泳連盟の定める標準点を突破した者は、各都道府県水泳連盟（協会）において代表候補選手として選考し、公益財団法人日本水泳連盟に予備エントリーをすることができる。

また、予備エントリーをした都道府県には1名の出場枠を与える。

なお、総則5別記4に定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の対象となる選手については、次の2025年度競技会を経ずに、公益財団法人日本水泳連盟に予備エントリーをすることができる。

ア 成年種別対象競技会

関東・関西選手権

イ 少年種別対象競技会

①地域高等学校選手権 ②全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会

※ 開催県は標準点突破者であれば、前記3の人数枠（4名）内でフルエントリーすることができる。

※ 天候等の理由により競技が成立しなかった場合は、日本水泳連盟飛込委員会が、対象大会を追加する場合がある。

- (7) 水球のブロック大会および本大会の参加チームは、都道府県予選会終了後、都道府県スポーツ協会が代表と認めた混成、単独いずれのチームでもよい。
- (8) オープンウォータースイミングは、2024年9月1日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した、公式競技会または公認競技会において、公益財団法人日本水泳連盟の定める標準記録を突破した者、または2024年4月1日以降、OWS日本選手権、公益財団法人日本水泳連盟認定競技会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳した者は、エントリーをすることができる。
- (9) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、および各水泳競技における公認水泳コーチ3・公認水泳コーチ4、または公認水泳教師、公認水泳上級教師のいずれかの資格を有する者とする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点の種類

ア 種別などに与える競技得点

水球（少年男子・女子）

アーティスティックスイミング（少年女子）

イ 種目などに与える競技得点

競泳（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）

飛込（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）

オープンウォータースイミング（男子・女子）

(2) 競技得点

種目	天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
競泳	成年男子 成年女子	成年女子	各種目（リレーを含む）とも、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。
飛込	少年男子 少年女子	少年女子	
水球	少年男子 少女	女子	1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、少年男子5位（4チーム）12.5点、女子5位（2チーム）17.5点、7位（2チーム）7.5点の競技得点を与える。
アーティスティックスイミング	少年女子	少年女子	1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。
オープンウォータースイミング	男子 女子	女子	1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。

(3) 参加得点

大会（ブロック大会含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表彰

- (1) 男女総合成績および女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種目（競泳・飛込・オープンウォータースイミング）および種別（アーティスティックスイミング）の第1位から第8位までに賞状を授与する。種別（水球）の第1位から第4位および少年男子第5位4チーム、女子5位2チーム、7位2チームに賞状を授与する。種別では、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と当該個人名を記載したものをチーム全員に授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年8月17日（日）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 資格審査、プログラム編成会議実施のため、Webページ（国民スポーツ大会参加申込システム）への入力期限（2025年8月17日）を厳守すること。入力期限以降、必要に応じて草津市実行委員会等から項目修正を依頼することがある。
- (3) 締切期限2025年8月20日（水）以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなる。
- (4) 注意
 - ア 選手の氏名等の個人情報 は 2025年度において公益財団法人日本水泳連盟に登録した情報と同じものであること。
 - イ 競泳は、2025年8月5日（火）正午までに各都道府県水泳連盟（協会）より公益財団法人日本水泳連盟へ監督および選手を予備エントリーすること。
予備エントリーの総数が参加人員の定員を超えた場合、公益財団法人日本水泳連盟は2025年8月7日（木）までに調整を行い、その結果を各都道府県水泳連盟（協会）に連絡する。
 - ウ 競泳の、リレー申込は4名とする。ただし、競技の際は、同じ種別内の個人種目または他のリレーに出場する者に交代することができる。
 - エ 飛込は、2025年8月1日（金）正午までに各都道府県水泳連盟（協会）より公益財団法人日本水泳連盟へ候補選手を予備エントリーすること。
公益財団法人日本水泳連盟は2025年8月4日（月）までに出場人数を決定し、その結果を各都道府県水泳連盟（協会）に通知する。
 - オ 飛込は、ダイブシートは所定のものを使用し必要事項を記入の上、当該競技開始時刻の24時間前までに提出すること。なお、競技会1日目15時までに開始される競技については前日15時までに提出を可とする。また、当該競技提出期限超過後であっても競技開始3時間前までに記録席本部に申し出ること、審判長嚴重注意のもと受け付ける場合がある。なお各日競技開始3時間30分前に競技会会場の開門時刻となっていない場合は、開門後30分間は同様の対応をする。なお提出場所および各競技の提出期限については、二次要項で周知する。
 - カ 水球の本大会への申込選手登録番号は、試合におけるメンバー表の番号と同一であること。（GKをNo.1に、第2のGKはNo.11に記載すること。また、キャプテンは備考欄に「主将」と記載すること。）
 - キ アーティスティックスイミングのテクニカルルーティン用紙およびフリールーティン用紙、ブロック大会のプログラムおよび記録は、国民スポーツ大会参加申込システムにアップロードする。
使用するCDは各自持参する。それぞれの最初に録音し、都道府県名、氏名を記入する。
 - ク オープンウォータースイミングは、2025年8月5日（火）正午までに各都道府県水泳連盟（協会）より公益財団法人日本水泳連盟へ候補選手を予備エントリーすること。
公益財団法人日本水泳連盟は2025年8月7日（木）までに出場人数を決定し、その結果を各都道府県水泳連盟（協会）に通知する。
- (5) 参加申込締め切り2025年8月20日（水）後の監督（兼任含む）および選手変更は、一切

認めない。ただし疾病、傷害等特別な場合に限り、監督の交代、競泳のリレー種目・水球およびアーティスティックスイミングは選手の交代を認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。なお、9(5)エに記載している提出先への提出方法は、(ア)についてはFAXにて提出、(イ)～(エ)については原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、下記への提出後、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

ア 競泳のリレー種目・水球およびアーティスティックスイミングの交代要員は申込み時に登録をすること。(競泳は各リレー種目1名、水球は4名まで、アーティスティックスイミングは1名とする)

イ 競泳および水球は各加盟団体の定めた都道府県予選会に参加した選手であること。

ウ 競泳は、予備エントリー時に定められた人数、水球は11名の定員を超えることはできない。また、監督者会議以降の選手の変更は認めない。

エ 提出先

(ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
8階

公益財団法人日本水泳連盟

TEL 03-6812-9061 FAX 03-6812-9062

(イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)

TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836

MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

(ウ) (競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング)

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局

(草津市教育委員会事務局 国スポ・障スポ推進室 競技係)

TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181

MAIL swim2025@city.kusatsu.lg.jp

(エ) (オープンウォータースイミング)

〒526-8501 滋賀県長浜市大島町37番地(長浜文化芸術会館内)

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会事務局

(長浜市 国スポ・障スポ大会推進室)

TEL 0749-65-6303 FAX 0749-65-6702

MAIL nagahama2025@city.nagahama.lg.jp

10 ADカード

監督以外のチームスタッフについては、選手4名に対し1枚を発行する。

選手ADカードは写真付きを使用する。

縦4.5cm×横3.5cmの写真を準備し、配付されたADカードに添付すること。

11 その他

(1) プログラム編成

(競泳・飛込)

日 時 2025年8月21日(木)～23日(土)
場 所 インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町13番10号
TEL 077-596-3775

(2) 組合せ抽選会

(水球)

日 時 2025年8月21日(木) 午前10時
場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
TEL 03-6812-9061 FAX 03-6812-9062

(3) 出場順の抽選

(アーティスティックスイミング)

日 時 2025年9月5日(金) 午後3時
場 所 インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町13番10号
TEL 077-596-3775

(4) 選手番号抽選会

(オープンウォータースイミング)

日 時 2025年9月9日(火) 午前11時30分
場 所 長浜文化芸術会館
〒526-0066 滋賀県長浜市大島町37番地
TEL 0749-65-6303 FAX 0749-65-6702

(5) 監督者会議

(競泳・飛込) 全体会

日 時 2025年9月12日(金) 午後3時
場 所 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)
〒525-0027 滋賀県草津市野村三丁目3番27号
TEL 077-563-1265 FAX 077-563-1465

(飛込) 分科会

日 時 2025年9月12日(金) 全体会終了後
場 所 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)
〒525-0027 滋賀県草津市野村三丁目3番27号
TEL 077-563-1265 FAX 077-563-1465

(水球)

日 時 2025年9月7日(日) 午後5時
場 所 インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町13番10号
TEL 077-596-3775

(アーティスティックスイミング)

日 時 2025年9月5日(金) 抽選会終了後
場 所 インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町13番10号
TEL 077-596-3775

(オープンウォータースイミング)

日 時 2025年9月9日(火) 抽選会終了後
場 所 長浜文化芸術会館
〒526-0066 滋賀県長浜市大島町37番地
TEL 0749-65-6303 FAX 0749-65-6702

(6) 総合表彰式

日 時 2025年9月15日(月) 競泳競技終了後
場 所 インフロニア草津アクアティクスセンター(草津市立プール)
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町13番10号
TEL 077-596-3775

(7) 練習時間については、会場地実行委員会事務局に問い合わせること。

(競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング)

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局
(草津市教育委員会事務局 国スポ・障スポ推進室 競技係)
TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181

(オープンウォータースイミング)

〒526-0066 滋賀県長浜市大島町37番地(長浜文化芸術会館内)
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会事務局
(長浜市 国スポ・障スポ大会推進室)
TEL 0749-65-6303 FAX 0749-65-6702

[2] 水泳競技

草津市
長浜市

競泳競技日程

会場：草津市 インフロンニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）

◇ 第1日目		9月13日（土）		【 9:30～ 】	
1	成年女子	400m	自由形	予選	9:30
2	成年男子	400m	自由形	予選	
3	少年女子B	100m	自由形	予選	
4	少年男子B	100m	自由形	予選	
5	少年女子A	200m	背泳ぎ	予選	
6	少年男子A	200m	背泳ぎ	予選	
7	成年女子	200m	個人メドレー	予選	
8	成年男子	200m	個人メドレー	予選	
9	少年女子B	100m	バタフライ	予選	
10	少年男子B	100m	バタフライ	予選	
11	成年女子	100m	バタフライ	予選	
12	成年男子	100m	バタフライ	予選	
13	少年女子A	200m	平泳ぎ	予選	
14	少年男子A	200m	平泳ぎ	予選	
15	少年女子B	4×100m	フリーリレー	予選	
16	少年男子B	4×100m	フリーリレー	予選	
17	少年女子A	4×100m	フリーリレー	予選	
18	少年男子A	4×200m	フリーリレー	予選	
19	成年女子	400m	自由形	決勝	
20	成年男子	400m	自由形	決勝	
21	少年女子B	100m	自由形	決勝	
22	少年男子B	100m	自由形	決勝	
23	少年女子A	200m	背泳ぎ	決勝	
24	少年男子A	200m	背泳ぎ	決勝	
25	成年女子	200m	個人メドレー	決勝	
26	成年男子	200m	個人メドレー	決勝	
27	少年女子B	100m	バタフライ	決勝	
28	少年男子B	100m	バタフライ	決勝	
29	成年女子	100m	バタフライ	決勝	
30	成年男子	100m	バタフライ	決勝	
31	少年女子A	200m	平泳ぎ	決勝	
32	少年男子A	200m	平泳ぎ	決勝	
33	少年女子B	4×100m	フリーリレー	決勝	
34	少年男子B	4×100m	フリーリレー	決勝	
35	少年女子A	4×100m	フリーリレー	決勝	
36	少年男子A	4×200m	フリーリレー	決勝	
◇ 第2日目		9月14日（日）		【 9:15～ 】	
37	少年女子A	400m	個人メドレー	予選	9:15
38	少年男子A	400m	個人メドレー	予選	
39	成年女子	100m	自由形	予選	
40	成年男子	100m	自由形	予選	
41	少年女子B	100m	背泳ぎ	予選	
42	少年男子B	100m	背泳ぎ	予選	
43	少年女子A	100m	自由形	予選	
44	少年男子A	100m	自由形	予選	
45	成年女子	100m	背泳ぎ	予選	
46	成年男子	100m	背泳ぎ	予選	
47	少年女子B	50m	自由形	予選	
48	少年男子B	50m	自由形	予選	
49	少年女子A	200m	バタフライ	予選	
50	少年男子A	200m	バタフライ	予選	
51	成年女子	100m	平泳ぎ	予選	
52	成年男子	100m	平泳ぎ	予選	
53	少年女子B	4×100m	メドレーリレー	予選	
54	少年男子B	4×100m	メドレーリレー	予選	
55	成年女子	4×50m	フリーリレー	予選	
56	成年男子	4×50m	フリーリレー	予選	
57	少年女子A	400m	個人メドレー	決勝	
58	少年男子A	400m	個人メドレー	決勝	
59	成年女子	100m	自由形	決勝	
60	成年男子	100m	自由形	決勝	
61	少年女子B	100m	背泳ぎ	決勝	
62	少年男子B	100m	背泳ぎ	決勝	
63	少年女子A	100m	自由形	決勝	
64	少年男子A	100m	自由形	決勝	
65	成年女子	100m	背泳ぎ	決勝	
66	成年男子	100m	背泳ぎ	決勝	
67	少年女子B	50m	自由形	決勝	
68	少年男子B	50m	自由形	決勝	
69	少年女子A	200m	バタフライ	決勝	
70	少年男子A	200m	バタフライ	決勝	
71	成年女子	100m	平泳ぎ	決勝	
72	成年男子	100m	平泳ぎ	決勝	
73	少年女子B	4×100m	メドレーリレー	決勝	
74	少年男子B	4×100m	メドレーリレー	決勝	
75	成年女子	4×50m	フリーリレー	決勝	
76	成年男子	4×50m	フリーリレー	決勝	
◇ 第3日目		9月15日（月）		【 9:15～ 】	
77	少年男子B	400m	自由形	予選	9:15
78	少年女子共通	400m	自由形	予選	
79	少年男子A	400m	自由形	予選	
80	少年女子B	100m	平泳ぎ	予選	
81	少年男子B	100m	平泳ぎ	予選	
82	少年女子A	50m	自由形	予選	
83	少年男子A	50m	自由形	予選	
84	成年女子	50m	自由形	予選	
85	成年男子	50m	自由形	予選	
86	少年女子B	200m	個人メドレー	予選	
87	少年男子B	200m	個人メドレー	予選	
88	少年女子A	4×100m	メドレーリレー	予選	
89	少年男子A	4×100m	メドレーリレー	予選	
90	成年女子	4×100m	メドレーリレー	予選	
91	成年男子	4×100m	メドレーリレー	予選	
92	少年男子B	400m	自由形	決勝	
93	少年女子共通	400m	自由形	決勝	
94	少年男子A	400m	自由形	決勝	
95	少年女子B	100m	平泳ぎ	決勝	
96	少年男子B	100m	平泳ぎ	決勝	
97	少年女子A	50m	自由形	決勝	
98	少年男子A	50m	自由形	決勝	
99	成年女子	50m	自由形	決勝	
100	成年男子	50m	自由形	決勝	
101	少年女子B	200m	個人メドレー	決勝	
102	少年男子B	200m	個人メドレー	決勝	
103	少年女子A	4×100m	メドレーリレー	決勝	
104	少年男子A	4×100m	メドレーリレー	決勝	
105	成年女子	4×100m	メドレーリレー	決勝	
106	成年男子	4×100m	メドレーリレー	決勝	

※ 時間は変更になる場合があります

飛込競技日程

会場：草津市 インフロンニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）

第1日目	9月13日（土）	少年女子 高飛込 少年男子 飛板飛込 成年女子 高飛込	10:00～ 12:30～ 15:00～
第2日目	9月14日（日）	少年女子 飛板飛込 少年男子 高飛込 成年男子 飛板飛込	10:00～ 12:30～ 15:00～
第3日目	9月15日（月）	成年女子 飛板飛込 成年男子 高飛込 エキシビジョンダイビング	10:00～ 12:30～ 競泳競技終了後（予定）

※ 時間は変更になる場合があります

水球競技日程

会場：草津市 インフロンニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）

		試合番号	開始時間	備考
第1日目	9月8日（月）	No. 1	第1試合 8:30～	【少年男子】予選リーグ
		No. 2	第2試合 9:25～	〃
		No. 3	第3試合 10:20～	〃
		No. 4	第4試合 11:15～	〃
		No. 5	第5試合 12:10～	〃
		No. 6	第6試合 13:05～	〃
		No. 7	第7試合 14:20～	【女子】予選リーグ
		No. 8	第8試合 15:10～	〃
		No. 9	第9試合 16:00～	〃
		No. 10	第10試合 16:50～	〃
		No. 11	第11試合 17:40～	〃
		No. 12	第12試合 18:30～	〃
第2日目	9月9日（火）	No. 13	第1試合 8:30～	【少年男子】予選リーグ
		No. 14	第2試合 9:25～	〃
		No. 15	第3試合 10:20～	〃
		No. 16	第4試合 11:15～	〃
		No. 17	第5試合 12:10～	〃
		No. 18	第6試合 13:05～	〃
		No. 19	第7試合 14:20～	【女子】予選リーグ
		No. 20	第8試合 15:10～	〃
		No. 21	第9試合 16:00～	〃
		No. 22	第10試合 16:50～	〃
		No. 23	第11試合 17:40～	〃
		No. 24	第12試合 18:30～	〃
第3日目	9月10日（水）	No. 25	第1試合 8:30～	【女子】予選リーグ
		No. 26	第2試合 9:20～	〃
		No. 27	第3試合 10:10～	〃
		No. 28	第4試合 11:00～	〃
		No. 29	第5試合 11:50～	〃
		No. 30	第6試合 12:40～	〃
		No. 31	第7試合 13:30～	〃
		No. 32	第8試合 14:20～	〃
		No. 33	第9試合 15:30～	【少年男子】準決勝
		No. 34	第10試合 16:45～	〃
第4日目	9月11日（木）	No. 35	第1試合 8:30～	【少年男子】3位決定戦
		No. 36	第2試合 10:00～	【女子】3位決定戦
		No. 37	第3試合 11:25～	【女子】決勝
		No. 38	第4試合 12:55～	【少年男子】決勝

※ 時間は変更になる場合があります

アーティスティックスイミング 競技日程

会場：草津市 インフロニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）

第1日目	9月6日（土）	テクニカルルーティン競技	9：50～11：50
		フリールーティン競技	14：30～16：40

※ 時間は変更になる場合があります

オープンウォータースイミング 競技日程

会場：長浜市 長浜市南浜町地先特設会場

第1日目	9月10日（水）	女子	10：00 スタート
		男子	12：50 スタート

※ 時間は変更になる場合があります

表彰日程

表彰式【 競 泳 】	種目別決勝終了後随時	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール）
【 飛 込 】	種目別決勝終了後随時	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール）
【 水 球 】	9月11日（木）試合終了後随時	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール）
【アーティスティックスイミング】	9月6日（土）競技終了後	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール）
【オープンウォータースイミング】	9月10日（水）競技終了後	長浜市南浜町地先特設会場
総合表彰式	9月15日（月）競泳競技終了後	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール）

※ 時間は変更になる場合があります

第79回国民スポーツ大会 水泳競技 式次第

開会行事

日時：令和7年9月13日（土）
午前9時15分～

会場：インフonia草津アクアティクスセンター

順序	次 第
1	開 式 通 告
2	大会会長トロフィー返還
3	競技会会長あいさつ
4	歓 迎 の こ と ば
5	選 手 宣 誓
6	競 技 開 始 宣 言
7	閉 式 通 告

総合表彰式

日時：令和7年9月15日（月・祝）
全競技終了後

会場：インフonia草津アクアティクスセンター

順序	次 第
1	開 式 通 告
2	総 合 成 績 発 表
3	表 彰 状 授 与 ・ 大会会長トロフィー授与
4	競技会会長あいさつ
5	歓 送 の こ と ば
6	競 技 会 終 了 宣 言
7	閉 式 通 告

監督者会議日程および会場

【 競 泳・飛 込 全体会 】

日	時	会 場
9月12日	午後3時～	YMITアリーナ（くさつシティアリーナ） 2階観客席
		滋賀県草津市野村三丁目3番27号
		077-563-1265

【 飛 込 分科会 】

日	時	会 場
9月12日	全体会終了後～	YMITアリーナ（くさつシティアリーナ） 1階控室
		滋賀県草津市野村三丁目3番27号
		077-563-1265

【 水 球 】

日	時	会 場
9月7日	午後5時～	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール） スタジオ1
		滋賀県草津市西大路町13番10号
		077-596-3775

【アーティスティックスイミング】

日	時	会 場
9月5日	抽選会終了後～	インフロニア草津アクアティクスセンター （草津市立プール） スタジオ1
		滋賀県草津市西大路町13番10号
		077-596-3775

【オープンウォータースイミング】

日	時	会 場
9月9日	抽選会終了後～	長浜文化芸術会館
		滋賀県長浜市大島町37番地
		0749-65-6303



水を楽しむみんなが仲間！

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲
AQUA CREW
▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

世界と戦うトップスイマーも、ジュニアスイマーも。彼らを応援する人も。
水中ウォークのお年寄りも、水際で遊ぶ赤ちゃんも。
プールで働く人も、海や川をキレイにしてくれる人も。
水の国・日本で水との暮らしを楽しむみんなが仲間！
AQUA CREWは、そのしるし。

こんなにも、水を楽しむ人がいる。こんなにも、水を愛する人がいる。
さあ、あなたもAQUA CREWになって、新たな誇りを手にしよう。

【大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください】

2025年1月1日
公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員のみなさんが宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場内（招集所出口からテーブル・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類／用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
上記の（1）～（4）	競泳は50cm ² 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm ² 以内で1カ所。（注1）	メーカーロゴは40cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm ² 以内で1カ所。	40cm ² 以内で1カ所。	20cm ² 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

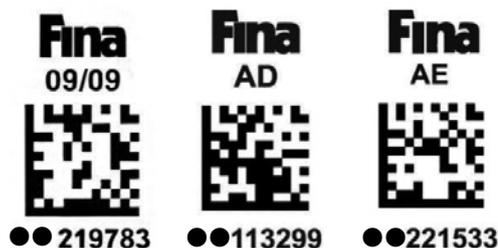
1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。

※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。

2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。

3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。

※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。



公式競技会及び公認競技会における 個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

2023年4月1日
公益財団法人 日本水泳連盟

(公財)日本水泳連盟(以下「本連盟」という。)の主催する公式競技会及び本連盟の公認する競技会、各加盟団体が主催する公式競技会ならびに各加盟団体が公認する競技会の参加にあたり、本連盟競技者登録・競技会参加等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下のとおり対応します。

1、競技会参加申込に記載された個人情報の取扱い

- (1) 大会プログラムに掲載します。
- (2) 競技会場内でアナウンス・ビジョン等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載することがあります。
- (4) 組合せ等の内容が本連盟及び公式計時SEIKOのホームページ・都道府県実行委員会・市町村実行委員会(以下「開催地実行委員会」という。)ホームページに掲載されることがあります。

2、競技結果(記録)等の取扱い

- (1) 本連盟ホームページ・「月刊水泳」・公式計時SEIKOのホームページに記載します。
- (2) 本連盟公式モバイルサイト「Swim Record Mobile」に記載します。
- (3) 開催地実行委員会が設置する記録センターを通じて公開されます。
- (4) 開催地実行委員会又はこれらに認められた報道機関等により新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (5) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、開催地実行委員が作成する大会報告書(以下「報告書」という。)に掲載されることがあります。
- (6) 新記録、優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラム等に掲載されることがあります。

3、肖像権に関する取扱い

- (1) 本連盟によって撮影された映像が、中継・録画放送及びインターネットによって配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配付されることがあります。
- (2) 開催地実行委員会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配付されることがあります。
- (3) 本連盟によって撮影された写真が、本連盟が発行する媒体やポスター等その他発行物及びインターネット等で公開されることがあります。
- (4) 開催地実行委員会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連インターネット等で公開されることがあります。
- (5) その他、主催団体及び開催地実行委員会等に許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

4、本連盟及び開催地実行委員会としての対応

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 本連盟競技者登録の完了をもって、上記取扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 大会役員・競技役員・補助役員・開催地実行委員・大会運営関係者及び来場者の皆様につきましては、上記取扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、 用具のロゴマーク等についての取扱規程

(目 的)

第1条 本規程は、公益財団法人日本水泳連盟（以下「本連盟」という。）競泳競技規則第17条に規定するロゴマーク（商標・商標名の総称）等の取り扱いに関することを定める。

(ロゴマーク等の使用基準)

第2条 全ての競技者、監督、コーチ及び役員（以下「競技者等」という。）は、競技会の会場内（招集所出口からテーブル・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）で着用する水着及びウェア・持ち物等に付けることができる所属チーム等の名称・マーク、スポンサーのロゴマーク、メーカーのロゴマークについて、つぎのとおり取り扱う。

(1) 水着及びウェア・持ち物等には、それぞれ利用の異なる毎に、次の名称・マークを付けることができる。

- 1) 自分の氏名や所属チームの名称・マーク
- 2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク
- 3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク
- 4) 公式競技会及び公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの
- 5) 水着には、30 cm²以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーロゴマークを1個及びメーカーロゴマークをウエストより上部に1個、下部に1個付けることができる。ただし、これらのメーカーのロゴマークは、相互に隣接して付けてはならない。ツーピースの水着には、上部に1個、下部に1個付けることができる

前記1)～4)までの所属チーム等の名称・マークの大きさに制限は無いが、水着に付ける所属チーム等の名称・マークは50 cm²以内で1個とする

- 6) ウェアには、40 cm²以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマーク及びメーカーのロゴマークを1個付けることができる
- 7) その他持ち物には、20 cm²以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマーク及びメーカーのロゴマークを1個付けることができる

(2) ロゴマーク面積の計測方法は着用前のものとし、ロゴマークを正方形あるいは長方形とみなし、縦×横で面積を求める。

(スポンサーロゴマークの取り扱い)

第3条 スポンサーのロゴマークは、競技者等に相応しい商標等とする。

ただし、タバコ及びソフトアルコール（アルコール度数15%未満）以外のアルコール並びに本連盟のスポンサー・パートナーに登録されている企業は除く。

(2) スポンサーロゴマークの取り扱いは、登録団体に対する商標等とし、個人に対する取り扱いはできない。尚、スポンサー企業は、1登録団体につき1社とする。

(スポンサーロゴマークの申請)

第4条 スポンサーロゴマークを使用する場合は、その3ヶ月前までに表示内容、場所、個数、大きさ等を明記した「スポンサーロゴマークの使用申請書」(別紙様式)を団体登録責任者及び加盟団体長を経由して、本連盟宛に提出し承認を得なければならない。

(2) スポンサーロゴマークは、所定の手続きにより、年度途中で変更、抹消、新規申請をすることができる。

(スポンサーロゴマークの承認手続)

第5条 承認の手続きは、本連盟で内容を確認した上、申請者への承認通知を送付する。

(登録の期限)

第6条 スポンサーロゴマークの有効期限は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。継続して使用する場合は、別に定める様式により本連盟宛に更新申請をしなければならない。

(改 廃)

第7条 本規程の改廃は、評議員会の決議により行う。

- 附則 1 本規程は、公益財団法人日本水泳連盟の設立の登記の日から施行する。
尚、飛込、水球、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミング及び日本泳法の各競技規則についても本規程を準用する。
- 2 本規程は、2016(平成28)年2月28日より一部改訂施行する。
 - 3 本規程は、2017(平成29)年4月1日より一部改訂施行する。
 - 4 本規程は、2018(平成30)年4月1日より一部改定施行する。
 - 5 本規程は、2019(平成31)年3月10日より一部改定施行する。
 - 6 本規程は、2023(令和5)年4月1日より一部改定施行する。
 - 7 本規程は、2025(令和7)年3月16日より一部改定施行する。

ドーピングって、なに？ なんでいけないの？

ドーピングとはフェアプレーの精神に反して、競技における運動能力の向上を目的として禁止物質を使用したり物理的な方法を用いたりすることです。また、チームスタッフ等が禁止物質の使用を企てたり支援したりする行為もドーピングの一種とされています。

スポーツの価値の根幹にはフェアプレーがあり、それを遵守する姿勢をスポーツマンシップと呼んで称賛します。スポーツに参加する選手全員がフェアプレーをすることによってはじめて勝敗の意味が生まれ、勝者と敗者がともに相手を讃え合う気持ちが湧いてきます。スポーツの価値として、日本アンチ・ドーピング規程（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）には以下のようなものが列記されています。

- 倫理観、フェアプレーと誠意
- 健康
- 卓越した競技能力
- 人格と教育
- 楽しみと喜び
- チームワーク
- 献身と真摯な取り組み
- 規則・法を尊重する姿勢
- 自分自身とその他の参加者を尊重する姿勢
- 勇気
- 共同体意識と連帯意識

このような素晴らしい価値をもつスポーツ活動はすべてフェアプレーの上に成り立っており、フェアプレーの精神に反するドーピング行為は禁止されています。



ドーピングが禁止される理由はもう1つあり、それは身体的な健康被害です。ドーピングで禁止している物質の多くは競技力向上と引き換えに健康を害します。せっかくスポーツをとおして健康なからだ、健康な精神を培ってきたのに、ドーピングによって両者ともはかなく崩れ去ってしまうのです。

ドーピングが禁止されているのは、一部のトップアスリートだけではないのです。小学生だって中学生だって、趣味として活動している中高年のスポーツ愛好家だって、「ずるいこと」をして試合に勝っても、すがすがしい達成感は生まれません。

さあ、これを読んだあなたがスポーツの価値を高めていく主役なのです。スポーツ活動をとおして、自分とスポーツを取り囲む文化を磨き上げていきましょう。

日本水泳連盟編集・発刊『水泳選手のためのアンチ・ドーピングのい・ろ・は』
(2015年)、p10より引用。

日本水泳連盟所属競技者<アンチ・ドーピングガイド>

(この内容は2025年1月1日から2025年12月31日まで有効) Ver.1

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

この資料は、日本水泳連盟に競技者登録し、競技者として活動している選手全員を対象としたアンチ・ドーピングガイドです。

クリーンスポーツでは「ドーピング」は禁止されています。「ドーピング」をしようとする悪意がなくても、競技者としてきちんとした対応をしなかったために、アンチ・ドーピング規則違反になってしまうことがあります。競技者には「厳格責任」と「証明責任」が求められています。

✓ 「厳格責任」…禁止物質が存在した場合は、競技者の過失の有無に関わらず、アンチ・ドーピング規則違反となること。つまり、口にするもの全てが自己責任であるということ。

✓ 「証明責任」…アンチ・ドーピング規則を守っていることを、競技者自身が証明すること。

アンチ・ドーピング規則違反には厳しい制裁が下され、スポーツ活動が一定期間（標準で4年間、最長で永久）できなくなります。

18歳未満の競技者

JADA 指定の国内最高レベルの競技大会（日本選手権、国民スポーツ大会など）や全国大会（JOC、全国中学、インターハイ、ジャパンオープンなど）へ参加する際、親権者の署名した検査に関する同意書を大会に持参してください。同意書はJADA ホームページに掲載されています。一度提出すれば、繰り返しの提出は必要ありません。

静脈注射と点滴

禁止物質を含まなくても、12時間あたり100mlを超える静脈注射や点滴は禁止されています。ただし、入院設備を有する医療機関での検査や治療の過程において正当に受ける場合は、それ以上の量の点滴が許可されています。無床診療所（入院設備のないクリニックなど）で100mlを超える点滴を受ける場合は競技者のレベルにより遡及的（後出し）TUEの申請が必要になります。同様に、競技会での体調不良の場合など救護室で点滴を開始した場合も、遡及的TUEの申請が必要になります。

気管支喘息の治療

よく使われる吸入ベータ2作用薬には使用できる薬品と禁止されている薬品があります。使用できる薬品でも、処方された用法用量に従って使用する必要があります。使用できる薬品をネブライザー（噴霧器）で吸入した場合、高い吸入効率のため定められた尿中閾値を超えてしまう可能性があります。競技者レベルによっては事前にTUE申請が必要になりますので、ご注意ください。

TUEに関しては、別紙<TUEガイド>やJADAホームページ内（薬の使用及び治療使用特例（TUE））も参照して下さい。

市販の総合感冒薬（かぜ薬）

興奮薬（競技会検査での禁止物質）などの禁止物質が含まれている製品があります。店頭で薬剤師に禁止物質が入っていないことを確認するか、別紙<いつでも使える薬の例>に記載されているものを使用するようにして下さい。また、可能であれば病院を受診して禁止物質の含まれていない薬を処方してもらって下さい（別紙<担当医師へのお願い>をご持参ください）。

サプリメント

サプリメントには表示された成分以外の禁止物質物が含まれていることがあります。「OC認定」などと成分保証を表示しているサプリメントもありますが、100%保証されたサプリメントは世界中に1つもありません。禁止物質に該当する「無承認物質（例：BPC-157）」が含まれているサプリメント等が流通していることも確認されています。必要な栄養補給は食事から摂取することが基本です。リスクを冒してまでサプリメントを使用する必要があるか、十分に検討してください。

<競技会検査について>

- ① 競技会とは競技者が参加予定競技会の前日の23時59分に開始され、当該競技会及び競技会に関する検体採取手続きの終了までの期間をいいます。
- ② **「国際競技会」** 国際競技会では、原則として World Aquatics Doping Control Rules (World Anti-Doping Code に準ずる) に基づき、競技会におけるドーピング検査が行われます。
- ③ **「国内競技会」** 国内の競技会では、日本アンチ・ドーピング規程 (World Anti-Doping Code に準ずる) に基づき、競技会におけるドーピング検査が行われます。
- ④ ドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、アンチ・ドーピング規則違反となります。帰路の都合(飛行機や電車等の時刻など)で検査を断ることは出来ません。
- ⑤ ドーピング検査の対象となった競技者は、競技後に検査員から通告を受けます。検査は尿や血液で行われますが、どの検査が行われるかは通告時に伝えられます。
- ⑥ 18歳未満の競技者には成人の付添い(所属関係者、家族など)を1名同伴してください。
- ⑦ 競技者は不注意による禁止薬物使用から、競技支援要員の方々(コーチ、トレーナー、医師、家族など)は不注意による禁止薬物投与から、それぞれアンチ・ドーピング規則違反とならないように十分留意して下さい。
- ⑧ ドーピング検査の行われる可能性がある競技会(JADA指定の「国内最高レベルの競技大会」など)に出場する競技者で、
 - a) 何らかの病気や怪我で病院・診療所などから継続して薬を使用または治療をしている競技者や、
 - b) 競技の直前(出場競技おおよそ7日前から当日)に病院・診療所などを受診する競技者は、
 - 1) 別紙<担当医師へのお願い>と共に、この書類一式を担当医師にお渡し下さい。
 - 2) 担当医師に診断名、使用薬品名、使用量、使用方法、医師の氏名と病院連絡先を確認し、控えを取っておいて下さい。

<競技会外検査について>

- ① 競技会外検査は予告なしに検査員が競技者の自宅や宿泊場所、練習場所などに出向いて実施されます。
- ② 競技会外検査はWorld Aquatics や JADA 検査対象者に登録され、ADAMS で居場所情報の提出を行っている指定競技者が受けることが多い検査ですが、指定競技者でなくても国際競技会に関連した代表合宿などで行われることがあります。
- ③ 「居場所情報提出」は競技会外検査を実施するために必要な競技者のスケジュールや情報を、競技者がADAMSで提出するものです。競技者が「いつ」「どこに」いるのか、3か月毎に情報を提供し、かつ5時~23時までの間で競技者本人が確実に検査を受けることが出来る60分の時間枠と場所を提示する必要があります。「競技会」や「宿泊場所」、「定期的なトレーニング」についても正確な情報を登録する必要があります。
- ④ 居場所情報関連義務違反： 居場所情報不備の警告が12か月間で累積3回になるとアンチ・ドーピング規則違反になります
 - a) 提出義務違反： 正確かつ完全な居場所情報提出を行う義務を怠った場合。
 - b) 検査未了： 居場所情報提出において競技者本人が指定した60分の時間枠で、指定した場所に不在であった場合。
- ⑤ 居場所情報の変更はADAMSのweb site またはアプリ Athlete Central で行って下さい。急病や事故などの緊急事態では検査未了が取り消されることもありますが、公的な証明を要します。
- ⑥ 長距離の移動などで、60分の時間枠を確保できない場合は「移動」で登録します。

例) ロサンゼルス1月1日午前0時発→羽田1月2日午前5時着。この場合、1月1日の5時~23時の間に時間枠は確保できない。乗り継ぎの場合は全行程で1つの移動となり、乗り継ぎの空港で時間枠を設定する必要はありません。
- ⑦ 最近の世界アンチ・ドーピング機構の方針として、競技会外検査(特に60分時間枠外)を増やす計画が提示されています。60分時間枠以外でも検査に対応する必要があります。
- ⑧ 検査そのものは競技会検査と同様に行われます。

日本水泳連盟所属競技者 <TUE ガイド>

(この内容は2025年1月1日から2025年12月31日まで有効) Ver.1

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

① TUE (Therapeutic Use Exemptions: 治療使用特例) とは

禁止物質・禁止方法を用いた治療を要する医学的状態にある競技者が申請するもので、付与されれば、特例として認められた禁止物質・方法を、認められた期間のみ、使用できるものです。競技者は治療を受ける前に、医療従事者へ「自身にはアンチ・ドーピングのルールが適用される」「禁止物質、禁止方法を使用せずに治療したい」ことを伝える責務があり、その上で付与が必要な日(競技大会など)の30日前までにTUEの申請を行う必要があります。30日前を過ぎてしまったら受け付けてもらえないということではありませんが、付与が必要な日までに審査が完了しない可能性があります。医療従事者向けに、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)ホームページ内の「薬の使用及び治療使用特例(TUE)」に概要が掲載されているほか、「医療関係の方へ」の中にも多くの資料が掲載されています。「2025年禁止表国際基準」、「TUE取得の条件」もJADAのホームページに掲載されています。

② TUEの規則は、競技者の競技レベル(競技者カテゴリー)によって異なります。下の表を確認して下さい。

競技者カテゴリー	競技者の状況
A (国際レベル競技者)	World Aquaticsにより「国際レベル」と定義・分類された競技者 (World Aquaticsによる検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) ^(注1) 又は、World Aquatics指定の国際競技大会に出場する競技者)
B (国内レベル競技者)	JADAによる検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) ^(注2) 又は、 JADAが指定する「国内最高レベルの競技大会」(日本選手権や国民スポーツ大会)に出場する競技者
C (A,Bに該当しない競技者)	上記以外の日水連登録競技者(インカレ、インターハイ、全中、JOから各県B級大会なども含む) (通常のTUE申請は必要なし。検査を受けて陽性となった場合に遡及的TUE申請をする。)

※年代別国際大会に出場競技者の場合は、日本水泳連盟事務局にお問合せください。

(注1)(注2) World Aquatics や JADA によって指定され、ADAMS で居場所情報を提供している競技者

TUE 事前申請が必要な JADA が指定する 2025 年度の水泳競技「国内最高レベルの競技大会」は以下の見込みです。2025 年 3 月に JADA ホームページにて情報公開されます。

- ・第 101 回 日本選手権 競泳/飛込/水球/AS/OWS
- ・第 66 回 日本選手権(25m)
- ・第 79 回 国民スポーツ大会 競泳/飛込/水球/AS/OWS

③ TUE の申請先と申請書類の取得、記載言語

競技者カテゴリー	TUE の申請先	申請書類	記載言語
A	ITA	ITA (国際検査機関) ホームページ(https://ita.sport)からダウンロード	英語
B	JADA	JADA ホームページ(http://www.playtruejapan.org)からダウンロード	英語
C	JADA	JADA ホームページからダウンロード、後述の遡及的 TUE として申請	英語

※カテゴリーBから新たにカテゴリーAに入った競技者について： JADA が付与した TUE を取得済の場合、ITA (国際検査機関) に JADA-TUE の承認申請をすれば自動的に承認されます。新規の申請は直接 ITA に行います。

④ TUE の種類について ~通常の TUE と遡及的(そきゅうてき) TUE~

治療目的に禁止物質・禁止方法の**使用が予定**される場合に事前に申請する通常の TUE と、**使用後**に申請する遡及的 TUE の 2 種類の申請方法があります。

通常の TUE はカテゴリーA、B の競技者が該当します。

遡及的 TUE は 2 通りあります。1 つ目は、カテゴリーA および RTP/TP のカテゴリーB の競技者が、急病や病状の変化などのために予定していなかった治療の中で使用した禁止物質・禁止方法について事後に申請するものです。2 つ目は、RTP/TP ではないカテゴリーB および C の競技者が「国内最高レベルの競技大会」**ではない競技会**でドーピング検査を受け、その結果、禁止物質が検出された場合に、事後に申請するものです。ただし、申請した遡及的 TUE が認められるのは、確立された標準的な治療で、かつ他の代替治療がない場合で、診断過程(診察・検査記録)、

通院記録などの医療情報を提出できることが条件になりますので、病院受診時には必ず担当医にアンチ・ドーピングに関してお伝えください。詳しくは別紙<担当医師へのお願い>をご参照ください。

<<TUEが必要な状況>>

競技者カテゴリー	国際競技会	JADA 指定 「国内最高レベルの競技大会」	その他の国内競技会・ 競技会外を含めて常に
A	必要	必要	必要
B	該当なし	必要	JADA RTP/TP は必要 その他は遡及的 TUE
C	該当なし	該当なし	全て遡及的 TUE

⑤ 注意が必要なケース：

気管支喘息治療薬のベータ2作用薬であるサルブタモール、サルメテロール、ホルメテロール、ビランテロールの吸入は、国内で認められた用法用量であればTUEの申請は必要ありません。他のベータ2作用薬の吸入はTUE申請が必要です。詳しくは別紙<担当医師へのお願い> および<ぜんそくの薬を使うときの注意点>をご参照ください。

漢方薬はTUE申請しても受付けてもらえません。

2022年から競技会時の糖質コルチコイドの注射使用、経口使用、経直腸使用は、全て禁止になりました。特に「痛み止めの注射」を受ける場合は注意が必要です。詳しくは別紙<「糖質コルチコイド」について>をご参照ください。

⑥ TUEの提出（通常のTUE および遡及的TUEの提出）

JADA や ITA に提出前に日水連事務局に原本を郵送して下さい。急ぎの場合は先に FAX で送付ください。日水連事務局がTUEの審査をするわけではありませんが、基本的な情報の不備や明らかな誤記などを確認しています。内容を確認の上、日水連事務局よりJADAあるいはITAに転送いたします。TUE申請結果に関しては、ADAMS利用者はADAMS上で確認ができ、そうでない競技者はJADAから郵送で報告があります。

郵送先：〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階

日本水泳連盟事務局 TUE申請係 FAX番号：03-6812-9062

通常のTUEを休日などに大至急提出したい場合は日水連事務局へFAXするのと同時にJADA(FAX)やITA(E-Mail添付)へも提出下さい。その後、原本は日水連事務局に郵送して下さい。

FAX番号：日水連事務局 03-6812-9062、JADA 03-5801-0944

ITAの場合： <https://ita.sport/tue/> 「HOW TO APPLY TO THE ITA'S ITUEC FOR TUE?」を参照し、tue@ita.sportへ送付する

⑦ その他

TUEの付与は年々厳しくなっています。「治療で禁止物質を使用していた → TUE申請をする」の順ではなく、他に禁止物質を使わない治療法が本当になのか再度医師と相談し、その上で「間違いなく他に治療の選択肢がない」という場合にTUEを申請するようにしてください。TUEは診断書ではなく「申請書」ですが、作成依頼時には診断書同様に費用がかかります。英語での記載のため、通常の診断書よりも高いことが多く、数万円することもあります。また、申請先に応じてITAおよびJADAのホームページから最新の書式を入手して記載して下さい。申請に際し、日水連は競技者への助言はできますが、審査はITAやJADAであることをご承知下さい。

最後に、TUE申請の判定書が手元に届くまでは、手続きは完了ではありません。TUE申請書を提出前にコピーを取り手元に残すようにして下さい。ITAやJADAから不備の修正、追加情報の指示連絡が来た時に、申請書(コピー)を見ながら説明を受けることができます。TUE書類への記載住所、電話番号などの不備(間違い)によりITAやJADAから書類に関する問合せ連絡がつかないことが多く発生しているようです。十分ご注意ください。

また、付与されたTUEには期限があります。期限切れにも十分に注意してください。

日本水泳連盟所属競技者〈担当医師へのお願い〉

(この内容は2025年1月1日から2025年12月31日まで有効) Ver.1

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

日頃より、日本水泳連盟所属の競技者の診療にご協力いただき、誠にありがとうございます。さて、本状を持参した患者は、ドーピング検査を受ける可能性がある競技者です。そのため、以下の点についてご配慮いただけますようお願い申し上げます。その際、日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のホームページ内にある「医療関係の方へ → 患者さんがもし...アスリートだったら?」や、日本水泳連盟ホームページの「日本水泳連盟所属競技者〈TUE ガイド〉」もぜひご参照ください。必要に応じて、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」(毎年6月頃更新)の活用や、各都道府県の「薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン」、または「JADA 公認スポーツファーマシスト」へのご相談をお勧めします。さらに、「Global DRO-JAPAN」を利用して医薬品名を検索し、使用可能かどうかをご確認ください。なお、使用可能な医薬品の例については、本資料⑥に掲示しておりますので、併せてご確認ください。なお、治療で使用した医薬品に関して、使用薬品名、用法用量、医師の氏名と病院連絡先を競技者に伝えていただくよう宜しくお願いいたします。

ドーピング検査で「禁止されている物質と方法」の使用が明らかになると、競技者は競技成績抹消および一定期間の資格停止などの制裁を受けることになります。「禁止されている物質と方法」は毎年更新され、最新の「2025年禁止表国際基準」はJADAのホームページから入手可能です。

競技者のレベルによって、治療使用特例 (TUE) の申請方法が異なります。事前に申請を行う場合と、ドーピング検査後に遡及的TUEを事後申請する場合があります。特に、急病などで緊急を要する治療が必要な場合は、競技レベルの高い選手であっても治療を最優先していただき、その後、遡及的TUEの事後申請にご協力いただけますようお願いいたします。

- ① 気管支喘息治療薬のベータ2作用薬であるサルブタモール、サルメテロール、ホルモテロール、ビランテロールの吸入は、用法用量が適正範囲であれば禁止されません (ネブライザー (噴霧器)による吸入はTUE申請が必要です)。しかし、他のベータ2作用薬の吸入に関しては、気管支喘息に関する患者情報を添えたTUEの申請が必要です (JADAホームページ内の「TUEに関する書式」参照)。また、ベータ2作用薬の全身投与 (内服、点滴、経皮吸収剤など) もTUEの申請が必要です。
- ② 糖質コルチコイドは、2022年から競技会時の注射、経口[口腔粘膜(口腔内(頬)、歯肉内、舌下等)を含む]、経直腸での使用がすべて禁止となりました。競技会外 (時) に使用することは禁止されていませんが、競技会直前での使用では、競技会ドーピング検査時に禁止物質として検出されてしまう可能性があります (ウォッシュアウト期間の目安が提示されています)。ドーピング検査で糖質コルチコイドが検出された場合は遡及的TUE申請をお願いすることになりますので、特に局所注射で使用する場合は、事後の客観的審査ができるように画像所見なども残して下さるようお願いいたします。詳しくは別紙「糖質コルチコイド」についてをご参照ください。

- ③ 禁止物質を含まないことを前提に、静脈内注射・点滴は12時間あたり100mlまで使用可能です。入院設備を有する医療機関での検査、治療、手術の過程で正当に受ける場合は、それ以上の量の点滴が許可されますが、無床診療所（入院設備のないクリニックなど）での100mlを超える点滴は禁止物質を含んでいなくても遡及的TUEの申請が必要になります。
- ④ 利尿薬および隠蔽薬に含まれるマンニトールは静脈注射では禁止されています。しかし、解熱鎮痛として点滴使用されるアセトアミノフェン（アセリオ静注液）の添加剤としてのマンニトールは、添付文書通りに使用の場合（体重あたり0.5g/kg未満）はTUEの申請は必要ありません。
- ⑤ アナフィラキシーショックに対するエピネフリンの皮下注射（エピペン等）の使用に関しては、医師からの処方であることが証明できる場合に限り、事前のTUE申請は不要です。緊急事態で実際に使用した場合は競技者から遡及的TUEの書類作成を依頼される場合があります。
- ⑥ 使用可能な病院処方薬の例を以下に示します（他にも使用可能な医薬品はたくさんあります）。
- 「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」や「日本スポーツ協会アンチ・ドーピング 使用可能薬リスト」にも使用可能薬が掲載されています。
- <感冒薬類> PL配合顆粒、SPトローチ、イソジンガーグル、アストミン、トランサミン、ムコダイン、メジコン、リン酸コデイン、等
- <鎮痛薬> カロナール、セレコックス、タリージェ、ハイペン、ブルフェン、ボルタレン、ロキソニン、ロルカム、リリカ、等
- <胃腸薬> アルサルミン、ガスター、酸化マグネシウム、タケキャブ、タケプロン、タンニン酸アルブミン、ナウゼリン、ネキシウム、パリエット、ビオフェルミン、ブスコパン、プリンペラン、プルゼニド、ムコスタ、ラックビー、ロペミン、等
- <抗アレルギー薬> アレグラ、アレジオン、アレロック、クラリチン、ザイザル、ザジテン、シングレア、タリオン、デザレックス、ビラノア、ポララミン、ルパフィン、等
- <抗菌薬> オーグメンチン、クラビット、クラリス、ケフラル、サワシリン、ジスロマック、セフゾン、ネオイスコチン、フロモックス、ホスミシン、ミノマイシン、メイアクト、等
- <気管支喘息治療薬> アドエア、オノン、オルベスコ、サルタノール、シムビコート、テオドール、テリルジー、パルミコート、フルタイド、フルティフォーム、レルベア、等
- <その他> タミフル、チラージンス、テルネリン、トラベルミン、フェロミア、プロパジール、ミオナール、メチコバール、メルカゾール、リンデロンVG軟膏（皮膚に限り使用可能）、等
- ⑦ 治療のために禁止物質を使用する必要がある場合は、TUE申請書の記載をお願いします。JADAホームページ内の「治療使用特例（TUE）に関する書式（記入例も掲載されています）等」や「日本水泳連盟所属競技者<TUEガイド>」をご参照下さい。申請書式ご記入の際、競技者情報の一部、競技者の宣誓書以外の箇所は、全て英語でご記載いただくことをご承知ください。また、該当患者（競技者）が国際レベルの場合は、ITA（国際検査機関）用の申請書となり、添付する検査結果も英語での記載となります（重要部を翻訳併記で可）。
- 「TUE申請時の参考情報」JADAホームページ内にTUE申請の多い疾患別の、審査に必要な医療情報(例)の掲載があります。

(公財)日本水泳連盟所属競技者<いつでも使える薬の例>

(この内容は2025年1月1日から2025年12月31日まで有効)

(公財)日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

競技会の期間中であってもアンチ・ドーピング規則違反にならない市販薬の例のリストです。ただし、薬局に行けば必ずその薬が置いてあるわけではありません。また、一文字違うだけで違反になる薬もたくさんあります。〇〇だったかな?ではなく、名称が「完全に一致」しているか確認しましょう。なるべく薬剤師に相談して選んでもらうようにしましょう。

商品名確認方法

(例)パブロンSゴールドW錠→[①パブロン][②S][③ゴールド][④W][⑤錠]と商品名を分解し、
①②③④⑤が『完全に一致』することを確認してください。

総合感冒薬…かぜ

飲み薬	・パブロンSゴールドW錠/微粒 ・パイロンPL錠/顆粒 ・パイロンPL錠ゴールド ・ストナファミリー ・パブロンキッズかぜ錠
-----	--

解熱鎮痛薬…熱、痛み

飲み薬	・バファリンA ・バファリンプレミアム ・バファリンルナi ・ロキソニンS ・ロキソニンSプラス ・ロキソニンSプレミアム	・イブA錠 ・イブA錠EX ・イブクイック頭痛薬 ・ナロンエースT ・ノーシン錠 ・ノーシンピュア	・ノーシンアイ頭痛薬 ・リングルアイビー ・リングルアイビーα 200 ・セデス・ハイ プロテクト ・新セデス錠 ・セデス・ハイ	・タイレノールA ・バファリンルナJ ・小児用バファリンCII ・ナロンm ・リングルN
-----	--	--	---	--

鎮痛・消炎薬…関節痛、腰痛、ねんざ、打撲

外用薬	・ボルタレンEXテープ ・ボルタレンACゲル ・ボルタレンEXローション ・ロキソニンSテープ ・ロキソニンSパップ ・ロキソニンSゲル ・フェイタスシップ ・サロンパスEX ・バンテリンコーワパップS ・アンメルツヨコヨコ
-----	---

鎮咳去痰薬…咳、痰が出る

飲み薬	・新コンタックせき止めダブル持続性 ・新ブロン液エース	・エスエスブロン液L ・ストナ去たんカプセル	・クールワン去たんソフトカプセル
トローチ	・ベンザブロックトローチ	・ピタスせきトローチ	
うがい薬	・イソジンうがい薬	・浅田飴AZうがい薬	

アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む)…くしゃみ、鼻水、鼻づまり、じんましんなどのかゆみ

飲み薬	・アレグラFX(※) ・アレジオン20 ・クラリチンEX	・コンタック鼻炎Z ・ムヒAZ錠 ・ロラタックス錠	・レスタミンコーワ糖衣錠 ・アレグラFXジュニア
点鼻薬	・アルガード鼻炎クールスプレー a	・ナザール「スプレー」	・パブロン鼻炎アタックJL
点眼薬	・ロートアルガードクリニカルショット	・ノアールPガード点眼液	・マイティアアイテクトアルピタット
塗り薬	・メンソレータムメディクイック軟膏R ・レスタミンコーワパウダークリーム	・ケラチナミンコーワ20%尿素配合クリーム ・ベトネベートN軟膏AS	・オイラックスA ・フルコートf

※アレグラFXプレミアムは禁止物質ブソイドエフェドリンを含むため使用不可

胃腸薬…胃が痛い、お腹が痛い

飲み薬	・ガスター10 ・ファモチジン錠「クニヒロ」 ・ガストール錠 ・サクロンQ ・ブスコパンA錠
-----	--

便秘治療薬…便が出ない(お腹がはる・痛い)

飲み薬	・コーラック ・コーラックII ・スルーラックS ・3Aマグネシア ・ビューラックA ・ピコラックス
-----	--

整腸薬・下痢止め…下痢、お腹が痛い

飲み薬	・ロペラマックサット ・トメダインコーワフィルム	・新ビオフェルミンS錠 ・大正下痢止め(小児用)	・ピタリット ・わかもと整腸薬	・強ミヤリサン(錠)
-----	-----------------------------	-----------------------------	--------------------	------------

吐き気止め…気持ちが悪い

飲み薬	・センバア・QT ・アネロン「ニスキャップ」 ・トラベルミン ・トラベルミンR ・トラベルミンチュロップ
-----	--

結膜炎、ものもらい

点眼薬	・ロート抗菌目薬i ・ロート抗菌目薬EX ・抗菌アイリス ・サンテメディカル抗菌
-----	--

口内炎

口腔咽喉薬	・チョコラBB口内炎リペアショット ・メディケア デンタルクリーム
-------	-----------------------------------

※ここに挙げたものだけがすべてではありません。他にも数多くあるので、アンチ・ドーピングに詳しいスポーツファーマシストにご相談ください。
日本水泳連盟ホームページのトップページ【薬の相談窓口】からもアクセスできます。



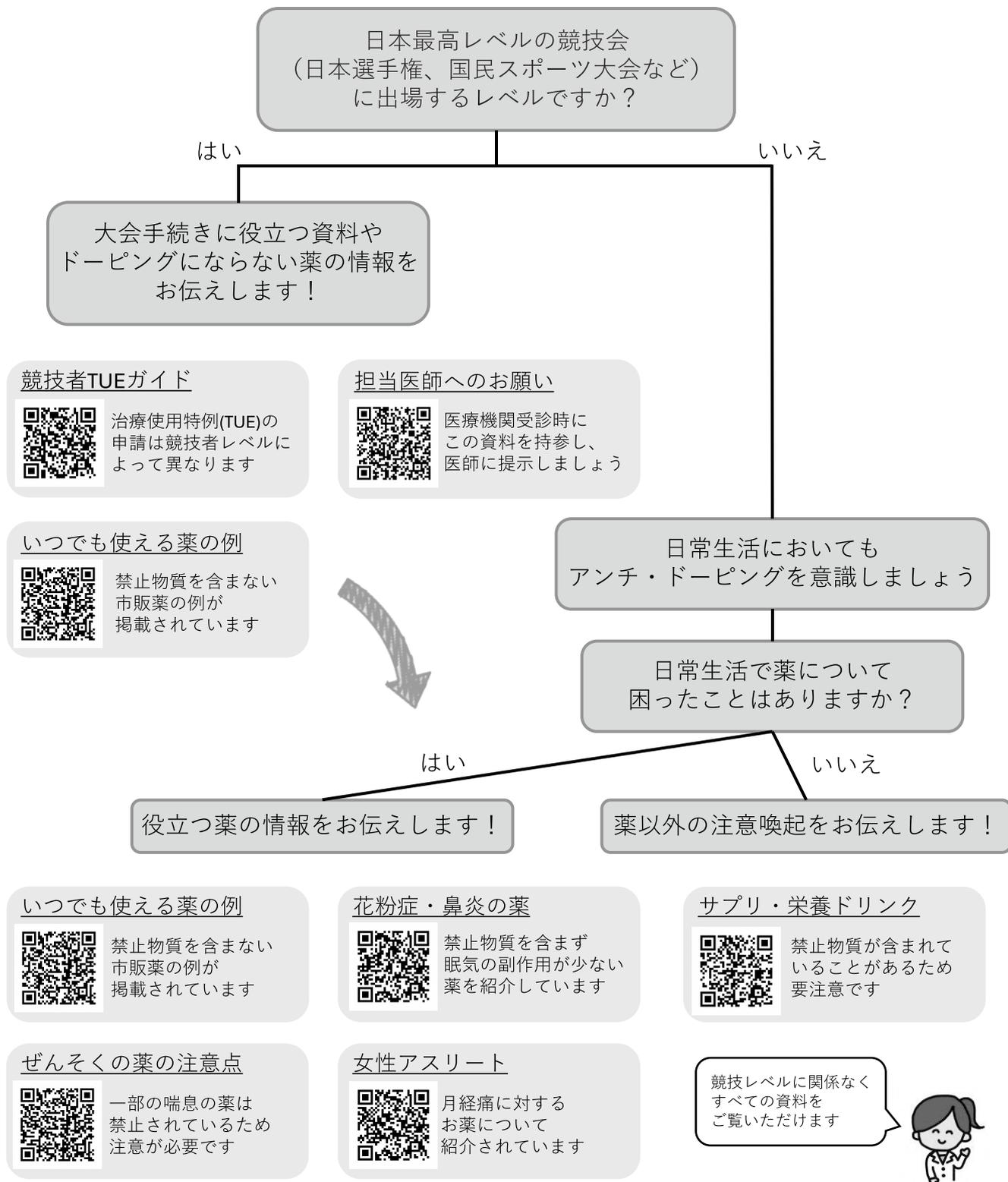
(参考情報)日本水泳連盟アンチ・ドーピング情報 <https://swim.or.jp/anti-doping/>



改訂年月日:2025年1月1日

≡ 一目で欲しい資料が分かる！

アンチ・ドーピングに役立つ資料



まずはお気軽にご相談ください

日本水泳連盟 【アンチ・ドーピング】 【薬の相談窓口】





勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



挑戦者たちは越えようとする。
 記録を。ライバルを。自分自身を。
 過去の常識も。世界の価値観さえも。
 挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
 これまでも、そしてこれからも、
 わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
 スポーツの持つ様々な可能性で、
 望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



セレスポ

時事通信

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

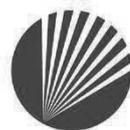
『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください



スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

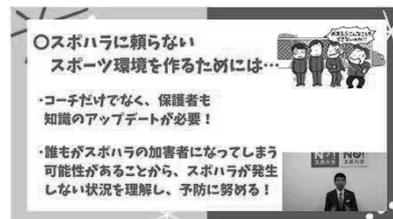


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で開催）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>





速く泳ぐだけなら、
魚には勝てない

速く泳ぐだけなら、魚の方が速いのは決まっています。
何で泳ぐのか、どうして泳ぐのか。泳ぐ以上はどうしたら
速く泳げるのか、そして自分は水泳から
何を学びとるのか、を考えながら泳がなければいけない

古橋廣之進

ふるはし ひろのしん
昭和3年3月16日生 静岡県浜名郡雄踏町出身
平成21(2009)年8月2日、世界水泳選手権開催中のローマにて急逝。
享年80歳
日本水泳連盟 名誉会長、国際水泳連盟 副会長
文化勲章(平成20年11月)受章
選手時代33回におよぶ世界記録を更新

努力の前に壁はない

練習は不可能を可能にすると言われる。けれども、
そのための練習に限りはない。
ここまでやったからいい、ということはない

逆境こそが進歩の母

人間のすゝきは机上の計算を超えられることだ。
気持ちや精神的なものもエネルギーとなる。
諦めたら終わる。だが、諦めず、
工夫し、考え、努力すれば、道は開ける

泳心一路

戦争が終わって、再び水泳ができるようになった時魚になるまで泳ごうと思った。
私の目標は世界一になることだった。だから人の何倍もの練習を苦しいとも思わなかった
人間というもの大きな目標を持って一筋に努力し工夫し、
苦しみにも耐えてこそ大きく成長していけるものだと思う

魚になるまで泳げ

赤ん坊は教えられて歩いて歩けるようになるわけではない。
一歩あるいては転び、二歩あるいては転びして覚えていく。
普段は陸上で生活しているのだから、
『魚になるまで』という気持ちで取り組まねば、
思うようには泳げない。
泳ぎ込むことで体が自然に覚え込む

根底に哲学を持って

何事もただやるだけでは、それが終わったとき、
すべてが終わる。根底に哲学がなければ、
それを『志』として生かすことはできない。
ただ記録を出せばいい、勝てばいいという
傾向があるが、そうではない。
多くの人の支えがあつて競技に専念できていてもいる。
人間的に尊敬される選手になつてほしい。
選手生活が終わつたら、
何も残らない人間にはなつてもらいたくない

「集中」思い定めたら
打ち込む

練習も、与えられたプログラムをこなすという
受け身の姿勢からは、並の結果しか生まれえない。
目移りするものや誘惑も多い時代だが、
スポーツの世界を目指せるのは、青春のほんの一時期。
スポーツを通じて人と交わり、異なる文化や歴史、
もの考え方を学んで人生に生かさなくては。
現役時代は一瞬なのだから

